

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育技術 I
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	10
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実技
		資 格	①保育士、幼稚園教諭2種、ホームヘルパー2級 ②保育士、幼稚園教諭2種、キャンプインストラクター	所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	① 保育園 6年、幼稚園 9年 ② 保育園 5年		
11	教 科 書	なし、プリント等使用			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	製作に必要な道具の使い方や保育に必要な基本的技術や知識・技術を身につけます。子どもの成長と子どもの世界を考慮し、製作を通して創造性を深めます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	子どもの興味監視を知ると共に、子どもたちの前で表現する力を身につけます。作品提出(実習用名札、誕生表作成)をし、発表します。			
15	科 目 の 必 須 条 件	保育現場に必要な知識や技術ものなので、自ら楽しみ、意欲を持ち参加してほしいと思います。道具を忘れると授業が無駄になるので、忘れ物をしないように準備してください。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	授業説明・保育技術で使用する道具について・誕生表の製作		
		②	誕生表完成・掲示 保育者と子どもについて		
		③	絵本について・絵本の読み聞かせ実践 ※絵本配布		
		④	実習用名札製作(フェルトを使って)		
		⑤	自己紹介を楽しく行う ～交流実習に向けて～ 製作		
		⑥	自己紹介を楽しく行う ～交流実習に向けて～ 発表		
		⑦	手遊び・歌あそび・季節の製作(交流実習準備)		
		⑧	暑中見舞いはがきづくり マーブルリング		
		⑨	暑中見舞いはがきづくり ～製作 仕上げ～		
		⑩	希節の折り紙製作 手遊び		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課	程	社会福祉専門課程	5	科	目	名	保育技術Ⅱ							
2	学	科	児童福祉教育科	6	科	目	番	号	10						
3	授	業	時	数	7	期		後期							
4	開	講	学	年	8	選	択	・	必	修					
10	担	当	氏	名	9	授	業	形	態	実	務	経	験	属	熊本YMCA学院
			資	格						①保育士、幼稚園教諭2種、ホームヘルパー2級 ②保育士、幼稚園教諭2種、キャンプインストラクター					
			① 保育園 6年、幼稚園 9年	② 保育園 5年											
11	教	科	書	ことばと表現力を育む児童文化											
12	関	連	資	格	・	検	定	等	保育士資格・幼稚園教諭免許						
13	科	目	の	概	要	子どもの成長と子どもの世界を考慮し、製作を通して創造性を深めます。保育に必要な基本的技術を身につけ、現場で実行できるようにします。									
14	科	目	の	到	達	目	標	紙芝居の製作を通して、子どもたちにとってのものがたりの世界の理解を深めます。季節の行事を知り、保育者としての知識を深めます。							
15	科	目	の	必	須	条	件	授業で取り組む作品作りは、「現場で子ども達に見せるものだ」と思って取り組みます。子ども達が楽しめる作品である前に、各自が楽しみながら、あそびの想像を膨らませながら取り組みます。							
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	①	オリエンテーション・紙芝居の研究(絵本と紙芝居の違い)				
										②	紙芝居・オリジナルの話を考える				
										③	紙芝居製作① お話と登場人物を考える				
										④	紙芝居製作② 各場面の割り振りと下絵に取り組む				
										⑤	紙芝居製作③ 下絵を進める(下絵の完成を提出する)				
										⑥	紙芝居製作④ 下絵完成・色塗り始める				
										⑦	紙芝居製作⑤ 色塗り・仕上げていく				
										⑧	紙芝居製作⑥ 仕上げ・発表の練習				
										⑨	紙芝居発表 発表と振り返り 提出×切				
										⑩	年賀状製作				
										⑪					
										⑫					
										⑬					
										⑭					
										⑮					
18	参	考	書												

1	課	程	社会福祉専門課程	5	科	目	名	リトミックⅡ					
2	学	科	児童福祉教育科	6	科	目	番	号	22				
3	授	業	時	数	7	期		後期					
4	開	講	学	年	8	選	択	・	必	修	必修		
10	担	当	教	員	氏	名		9	授	業	形	態	実技
					資	格	リトミック講師	所	属	リトミック教室			
					実	務	経	験	保育園、幼稚園へリトミック指導 31年				
11	教	科	書	リズム&ゲームにどっぷり！リトミック77選 プリント									
12	関	連	資	格	・	検	定	等	保育士・幼稚園教諭2種				
13	科	目	の	概	要	音楽的な感覚を高めます。 音・音楽による表現力を養います。 身体による表現力を養います。 基礎的な音楽理論の理解を深める							
14	科	目	の	到	達	目	標	リトミックは体験によって学ぶことを主眼としています。					
15	科	目	の	必	須	条	件	毎回の積極的な参加を希望しています。 動きやすい服装で、はだしまたは、その薄いシューズで行う。					
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し	
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	①	即時対応		
										②	強弱		
										③	音の高低		
										④	速度		
										⑤	拍		
										⑥	拍子		
										⑦	基礎リズム		
										⑧	リズムパターン		
										⑨	リズムフレーズ		
										⑩	複リズム		
										⑪	保育現場での指導法		
										⑫			
										⑬			
										⑭			
										⑮			
18	参	考	書										

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	ピアノ I
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	14
3	授 業 時 数	60時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実技
		資 格		所 属	個人教室
		実 務 経 験		①音楽教室(個人レッスン)20年②ヤマハ音楽教室11年③音楽教室(個人レッスン)20年④ピアノ教室 26年 ⑤⑥⑧講師⑦幼稚園保育園でのリトミック指導	
11	教 科 書	ピアノ教本(バイエル) こどものうた100			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	初心者、ピアノ奏法の基礎技術と日常の保育に必要な読譜力の修得を目指します。学生が自らピアノに向かい練習する姿勢を身につけます。経験者はさらに幼児、児童の感性を豊かに育てるための演奏技術の向上を目指します。初心者はもちろんのこと、経験者も理論面の確認を行い、個人練習絵をするための基礎を養います。			
14	科 目 の 到 達 目 標	近大テキストの所定の曲をすべて終了し、近大スクーリングにて「音楽 I - ①」に合格するように取り組みます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	授業以外に各自必ず練習する時間を作ってよく引き込んだ状態で授業に参加してください。忘れ物(ヘッドフォン、楽譜)の忘れ物は厳禁です。もし忘れた場合は授業前に準備してください。 爪は短く、ピアノ室は飲食厳禁。 スクーリングで試験を受けるには、1週間前までに上記の曲を合格していることが条件です。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション 進行表(別紙)に添って、各自の進度に合わせてレッスン		
		②	細かい合格達成目標番号を講師より伝えますので、設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。		
		③	設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。		
		④	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑤	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑥	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑦	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑧	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑨	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑩	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑪	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑫	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑬	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑭ ~ ⑰	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。表現力向上のためのレッスン		
⑱ ~ ⑳	試験に向けて、課題番号の発表、練習				
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	ピアノⅡ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	14
3	授 業 時 数	60時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実技
		資 格		所 属	個人教室
		実 務 経 験		①音楽教室(個人レッスン)20年②ヤマハ音楽教室11年③音楽教室(個人レッスン)20年④ピアノ教室 26年 ⑤⑥⑧講師⑦幼稚園保育園でのリトミック指導	
11	教 科 書	ピアノ教本(バイエル) こどものうた100			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	初心者、ピアノ奏法の基礎技術と日常の保育に必要な読譜力の修得を目指します。学生が自らピアノに向かい練習する姿勢を身につけます。経験者はさらに幼児、児童の感性を豊かに育てるための演奏技術の向上を目指します。初心者はもちろんのこと、経験者も理論面の確認を行い、個人練習絵をするための基礎を養います。			
14	科 目 の 到 達 目 標	近大テキストの所定の曲をすべて終了し、近大スクーリングにて「音楽Ⅰ-①」に合格するように取り組みます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	授業以外に各自必ず練習する時間を作ってよく引き込んだ状態で授業に参加してください。忘れ物(ヘッドフォン、楽譜)の忘れ物は厳禁です。もし忘れた場合は授業前に準備してください。 爪は短く、ピアノ室は飲食厳禁。 スクーリングで試験を受けるには、1週間前までに上記の曲を合格していることが条件です。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション 進行表(別紙)に添って、各自の進度に合わせてレッスン		
		②	細かい合格達成目標番号を講師より伝えますので、設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。		
		③	設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。		
		④	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑤	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑥	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑦	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑧	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑨	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑩	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑪	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑫	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑬	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。		
		⑭ ~ ⑰	指を動かす練習。設定されてる目標に沿って合格できるよう、各自練習を行い、レッスンを受ける。音楽理論の基礎を学ぶ時間を設ける。表現力向上のためのレッスン		
⑱ ~ ⑳	試験に向けて、課題番号の発表、練習				
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	声乐Ⅱ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	15
3	授 業 時 間	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・実技
		資 格		所 属	個人教室
		実 務 経 験		ヤマハ音楽教室11年	
11	教 科 書	近畿大学テキスト 音楽(声乐教本) リズムの基礎 コピー楽譜			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	演奏技術を習得するために音楽の基本であるソルフェージュ(読譜・リズム・音程・聴音)を養います。スクーリングの課題であるコールユーブンゲン・コンコーネを練習します。			
14	科 目 の 到 達 目 標	スクーリング受験資格は定期試験合格することとします。声乐はクラス授業であるため、個人的にチェックする必要があり、授業の後半に個別レッスンします。			
15	科 目 の 必 須 条 件	音楽は歌に始まり歌に終わるといいます。声の出し方(発生)学ぶことによって、保育に必要な演奏技術の向上を、目指します。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	出欠、オリエンテーション		
		②	発声		
		③	子どもの歌(季節の歌など)		
		④	リズム・聴音(コード)		
		⑤	コールユーブンゲン(テキスト)		
		⑥	コンコーネ(テキスト)		
		⑦	歌(テキスト) 讃美歌(プリント) 歌うたい歌		
		⑧	個別レッスン①		
		⑨	個別レッスン②		
		⑩	個別レッスン③		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課	程	社会福祉専門課程	5	科	目	名	声乐Ⅱ								
2	学	科	児童福祉教育科	6	科	目	番	号	15							
3	授	業	時間	7	期	後期										
4	開	講	学	年	8	選	択	・	必	修	必修					
10	担	当	教	員	氏	名	9		授	業	形	態	講義・実技			
					資	格	教員免許		所	属	個人教室					
					実	務	経	験	ヤマハ音楽教室11年							
11	教	科	書	近畿大学テキスト 音楽(声乐教本) リズムの基礎 コピー楽譜												
12	関	連	資	格	・	検	定	等	保育士・幼稚園教諭2種							
13	科	目	の	概	要	演奏技術を習得するために音楽の基本であるソルフェージュ(読譜・リズム・音程・聴音)を養います。スクーリングの課題であるコールユーブンゲン・コンコーネを練習します。										
14	科	目	の	到	達	目	標	スクーリング受験資格は定期試験合格することとします。声乐はクラス授業であるため、個人的にチェックする必要があり、授業の後半に個別レッスンします。								
15	科	目	の	必	須	条	件	音楽は歌に始まり歌に終わるといいます。声の出し方(発生)学ぶことによって、保育に必要な演奏技術の向上を、目指します。								
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	の	ス	ケ	ジ	ュ	①	出欠、オリエンテーション
															②	発声
															③	子どもの歌(季節の歌など)
															④	リズム・聴音(コード)
															⑤	コールユーブンゲン(テキスト)
															⑥	コンコーネ(テキスト)
															⑦	歌(テキスト) 讃美歌(プリント) 歌うたい歌
															⑧	個別レッスン①
															⑨	個別レッスン②
															⑩	個別レッスン③
															⑪	
															⑫	
															⑬	
															⑭	
															⑮	
18	参	考	書													

1	課	程	社会福祉専門課程	5	科	目	名	観察実習			
2	学	科	児童福祉教育科	6	科	目	番	号			
3	時	間	数	30時間	7	期		後期			
4	開	講	学	年	8	選	択	・			
				1年				必修			
10	担	当	氏	名	9	授	業	形	態		
			資	格						所	属
			実	務							
			保育士・幼稚園教諭			熊本YMCA学院					
				幼稚園 9年 保育園 6年							
11	教	科	書	プリント							
12	関	連	資	格	・	検	定	等	保育士・幼稚園教諭2種		
13	科	目	の	概	要	子どもの発達段階の学び、子どもの姿を想像して、保育技術を学ぶ。 実際に子ども達に行うことで、自己自覚を進めていく機会とする。 実習日誌記載の仕方を学び、実践する。					
14	科	目	の	到	達	目	標	観察実習を通して、乳幼児の姿、保育者の援助、保育の流れの実際を知る。			
15	科	目	の	必	須	条	件	発達段階に合わせた準備(手遊び、保育技術)プレゼント制作。実習日誌の体験をする。			
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価		
									出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し		
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル		
										①	出欠、オリエンテーション
										②	グループに分かれて 発達段階調べ学習
										③	グループに分かれて 発達段階調べ学習
										④	発達段階の発表
										⑤	プレゼント作り
										⑥	保育技術発表
										⑦	実習1日目(グループ活動)①
										⑧	実習1日目(グループ活動)②
										⑨	実習1日目(グループ活動)③
										⑩	実習2日目(グループ活動)①
										⑪	実習2日目(グループ活動)②
										⑫	実習2日目(グループ活動)③
										⑬	実習3日目(グループ活動)①
										⑭	実習3日目(グループ活動)②
⑮	振り返り まとめ										
18	参	考	書								

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	社会的養護内容Ⅱ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	18
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験		保育園 6年 児童発達支援センター 3年	
11	教 科 書	よくわかる社会的養護内容第3版 プリント			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	5つの目標に沿って、児童の権利擁護や保育士などの倫理について、施設養護、他の養護の実際について、支援計画の作成、日常生活支援、治療的支援、自立支援などの内容、ソーシャルワークの方法と技術について理解、社会的養護ととして、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深めます			
14	科 目 の 到 達 目 標	テキスト、プリント時には映像を通して、子どもたちの置かれている現状について知る。そこで感じた事柄をどう自分の中に落とし込んでいくのかを考えていく必要がある。子どもたちが何を求めているのか、施設ではどういった人材を求めているのかを知ることによって、子どもたちに何が必要なのかが見えてくる。自分で気が付き、理解し考え、行動に移していけるようになることをのぞみます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	音楽は歌に始まり歌に終わるといいます。声の出し方(発生)学ぶことによって、保育に必要な演奏技術の向上を、目指します。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の ス ケ ジ ュ ー ル	①	オリエンテーション 社会的「養護」=心身の土台作り 社会的=国及び地方公共団体の責任		
		②	発達障害についての基礎的知識 発達障害、福祉型障害児施設における支援 具体的支援の作成		
		③	児童相談所に向けて、スーツでの登校		
		④	児童相談所見学		
		⑤	児童相談所見学 (レポート提出して初めての出席、未提出者がいた場合は欠席3コマ、単位取れない)		
		⑥	児童福祉施設について(就職対策と併用)		
		⑦	児童の施設利用開始時の支援について学ぶ		
		⑧	里親制度と里親ファミリーホーム 里親養育の現状と問題点、里親養育の現状について学ぶ		
		⑨	パーマネンシープランニング・COMMONSENSEペアレンティングについて		
		⑩	定期試験		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育技術Ⅲ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	21
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実技
		資 格		所 属	YMCA熊本五福幼稚園
		実 務 経 験		① 幼稚園 9年 保育園 6年 ② 保育園 5年	
11	教 科 書	言葉と表現力を育む児童文化			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	様々な造形活動を通じて、楽しみ工夫しながら製作していきます。 子どもたちの前で演じることを考慮してパネルシアターを製作していきます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	一人ひとりがパネルシアターの演じ方を研究し、自信をもって発表できるように取り組みましょう。 手遊びや小道具を使った実践の方法を研究していきましょう。			
15	科 目 の 必 須 条 件	授業態度(取り組む姿勢)を重視しますので、忘れ物など内容に準備物を用意してください。作品の提出期限を必ず守れるように製作に取り組んでください。 子どもたちが近くで手に取っていても恥ずかしくないように丁寧に作品を仕上げてください。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション 今年度の個人の目標制作 オリジナルパネルシアターの製作について		
		②	パネルシアター実演・パネルシアターの製作(下絵)		
		③	パネルシアターの製作(色塗り)		
		④	パネルシアターの製作(色塗り完成)		
		⑤	パネルシアターの製作完成。提出締め切り		
		⑥	パネルシアターの発表		
		⑦	実習 実技振り返り・お話し小道具作り		
		⑧	お話し小道具作り		
		⑨	折り紙・絵画技法について		
		⑩	絵画技法について まとめ		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課	程	社会福祉専門課程	5	科	目	名	保育技術IV			
2	学	科	児童福祉教育科	6	科	目	番	号			
3	授	業	時	数	7	期		前期			
4	開	講	学	年	8	選	択	・			
						必	修	必修			
10	担	当	氏	名	9	授	業	形	態		
			資	格						所	属
			実	務							
									① 幼稚園 9年 保育園 6年 ② 保育園 5年		
11	教	科	書	言葉と表現力を育む児童文化							
12	関	連	資	格	・	検	定	等	保育士・幼稚園教諭2種		
13	科	目	の	概	要	様々な造形活動を通じて、楽形を作り出す力や工夫する力を養います。					
14	科	目	の	到	達	目	標	子どもたちの前で演じることを考慮してエプロンシアターを製作する。また、一人ひとりがエプロンシアターの演じ方を研究し、自信をもって発表していきましょう。			
15	科	目	の	必	須	条	件	授業態度(忘れ物などはマイナスいたします)を重視します。授業が始まる前までに、使用する道具・資料などは授業開始前に必ず、準備し、授業に臨みましょう。係の方は前日までに準備物の確認にきてください			
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準
											出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	①	オリエンテーション エプロンシアターの下書き(台本)確認。製作物決定
										②	エプロンシアター 型紙作り (ペタペタエプロン・裁縫道具を必ず持参)
										③	エプロンシアターの製作 (フェルト・ペタペタエプロン・裁縫道具を必ず持参)
										④	エプロンシアターの製作 (フェルト・ペタペタエプロン・裁縫道具を必ず持参)
										⑤	エプロンシアターの製作 (フェルト・ペタペタエプロン・裁縫道具を必ず持参)
										⑥	エプロンシアターの発表 (保育実習で使いたい人は必ずここまで仕上げ発表)加点あり
										⑦	エプロンシアターの発表(垣地演じ方を事前に練習)
										⑧	エプロンシアターの発表 グループに分かれて発表
										⑨	エプロンシアター製作、発表について 振り返り(今後の実習に向けて)
										⑩	クリスマスの飾り製作・季節の折り紙
										⑪	
										⑫	
										⑬	
										⑭	
										⑮	
18	参	考	書								

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	実習指導 I
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	23
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	YMCA熊本五福幼稚園
		実 務 経 験		幼稚園11年6か月 保育園1年 認可外保育園 1年6か月	
11	教 科 書	教育・保育実習のデザイン			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	実習の目的、意義をしっかりと理解し、教育現場において、より積極的な取り組みができるよう、事前の準備・計画、実習後の振り返りまでの流れを学びます。 教育実習 I の「保育の実態を観察し、それまでに学習してきた知識や理論などを子どもとの生活を通して、教育現場で実践する」という目的を達成するための準備・実践・振り返りを行います。			
14	科 目 の 到 達 目 標	実習までに、年齢の発達を考えた指導案を作成する。責任をもって保育を行うことを理解しましょう。			
15	科 目 の 必 須 条 件	実習で得た課題を今後の学習に生かせるよう、省察を丁寧に行っていきましょう。 社会人としてのマナーを身に付ける。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	教育実習の流れ 実習オリエンテーション(電話かけ) 自己目標、課題の設定①		
		②	自己目標、課題の設定② 指導案について		
		③	指導案について および作成(指導案提出、締め切り日厳守)		
		④	指導案作成(指導案②)		
		⑤	指導案作成		
		⑥	教育実習に向けて		
		⑦	実習振り返り、省察(報告書作成)		
		⑧	報告会準備、報告書作成		
		⑨	報告会準備・報告会リハーサル		
		⑩	報告会(日程は後日調整)		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	実習指導Ⅱ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	23
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格	保育士 幼稚園教諭2種	所 属	YMCA熊本五福幼稚園
		実 務 経 験	幼稚園11年6か月 保育園1年 認可外保育園 1年6か月		
11	教 科 書	教育・保育実習のデザイン			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	前回の教育実習の反省・課題点を踏まえ、保育現場において保育者の働きを学びより積極的な取り組みができるよう、事前の準備・計画内容を練り、実習につなげていきます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	保育者を志すものとしての自信の課題に向き合しましょう。 実習自己目標、指導案提出			
15	科 目 の 必 須 条 件	実習までに年齢の発達を考えた指導案を作成します。 責任をもって保育を行うことを理解します。 実習で得た課題を今後の学習に生かせるよう、省察を丁寧に行いましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	保育実習の流れの確認 オリエンテーショ 自己目標、課題の設定		
		②	自己目標、課題の提出 指導案作成について		
		③	実習日誌作成 指導案(提出①) 締め切り日厳守		
		④	保育実習に向けて(1)担当する年齢の発達や特徴について		
		⑤	保育実習に向けて(2) 指導案作成(提出②)締め切り日厳守		
		⑥	保育実習準備(年齢にあった教材研究や部分実習のための準備)		
		⑦	保育実習準備		
		⑧	実習振り返り・省察・報告書作成		
		⑨	報告会準備(報告書印刷・製本)		
		⑩	報告会(日程は後日調整)		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	ピアノⅢ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	24
3	授 業 時 数	45時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実技
		資 格		所 属	個人教室
		実 務 経 験		①音楽教室(個人レッスン)20年②ヤマハ音楽教室11年③音楽教室(個人レッスン)20年④ピアノ教室 26年 ⑤⑥⑧講師⑦幼稚園保育園でのリトミック指導	
11	教 科 書	音楽 ピアノ教本 ブルグミュラー25の練習曲 リズムの基礎			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	1年生で身に付けた基礎を元に、実習で子どもたちの前でピアノを弾くことを想定した練習に取り組みます。昨年度よりもレベルの高いピアノ曲を経験し、弾き歌いをより音楽的に演奏できるようになりましょう。近大テキストの所定の曲をすべて終了し、近大スクーリングにて音楽的に演奏できるようにしましょう。			
14	科 目 の 到 達 目 標	近大テキストの所定の曲をすべて終了し、近大スクーリングにて「音楽Ⅰ-②」及び「音楽1-③」の試験に合格できるように組みましょう。実習前は、季節の歌などの弾き歌いに取り組むとともに、実習園から課題曲を提示された学生はその課題が完璧になるまでしっかりと弾きこみましょう。			
15	科 目 の 必 須 条 件	授業以外に各自必ず練習する時間を作ってよく引き込んだ状態で授業に参加してください。忘れ物(ヘッドフォン、楽譜)の忘れ物は厳禁です。もし忘れた場合は授業前に準備してください。爪は短く、ピアノ室は飲食厳禁。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け		
		②	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け		
		③	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		④	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑤	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑥	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑦	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑧	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑨	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑩	5指の基礎練習、ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	ピアノⅣ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	24
3	授 業 時 数	45時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実技
		資 格		所 属	個人教室
		実 務 経 験		①音楽教室(個人レッスン)20年②ヤマハ音楽教室11年③音楽教室(個人レッスン)20年④ピアノ教室 26年 ⑤⑥⑧講師⑦幼稚園保育園でのリトミック指導	
11	教 科 書	音楽 ピアノ教本 ブルグミュラー25の練習曲 リズムの基礎			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	1年生で身に付けた基礎を元に、実習で子どもたちの前でピアノを弾くことを想定した練習に取り組みます。昨年度よりもレベルの高いピアノ曲を経験し、弾き歌いをより音楽的に演奏できるようになりましょう。近大テキストの所定の曲をすべて終了し、近大スクーリングにて音楽的に演奏できるようにしましょう。			
14	科 目 の 到 達 目 標	近大テキストの所定の曲をすべて終了し、近大スクーリングにて「音楽Ⅰ-②」及び「音楽1-③」の試験に合格できるように組みましょう。実習前は、季節の歌などの弾き歌いに取り組むとともに、実習園から課題曲を提示された学生はその課題が完璧になるまでしっかりと弾きこみましょう。			
15	科 目 の 必 須 条 件	授業以外に各自必ず練習する時間を作ってよく引き込んだ状態で授業に参加してください。忘れ物(ヘッドフォン、楽譜)の忘れ物は厳禁です。もし忘れた場合は授業前に準備してください。 爪は短く、ピアノ室は飲食厳禁。 スクーリングで試験を受けるには、1週間前までに上記の曲を合格していることが条件です。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	スケール(音階) コードネームによる伴奏付け		
		②	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け		
		③	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		④	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑤	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑥	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑦	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑧	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑨	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑩	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	声乐Ⅲ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	15
3	授 業 時 間	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・実技
		資 格		所 属	個人教室
		実 務 経 験		ヤマハ音楽教室11年	
11	教 科 書	近畿大学テキスト 音楽(声乐教本) リズムの基礎 コピー楽譜			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	積み重ねた発生保障腕テキストの歌、子どもの歌を歌うとともに音楽の見本であるソルフェージュカをつけるために、リズム、読譜、音程、和音など繰り返し訓練します。			
14	科 目 の 到 達 目 標	スクーリング受験資格は定期試験合格することとします。声乐はクラス授業であるため、個人的にチェックする必要があり、授業の後半に個別レッスンします。一年間で身に付けた基礎を元に保育に必要な演奏の技術の向上を目指します。			
15	科 目 の 必 須 条 件	授業の効果を上げるため、積極的に参加協力してください。個人的にチェックするために個別レッスンをします。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション レッソンの流れ		
		②	出欠 お知らせなど		
		③	発声		
		④	子どもの歌(季節の歌など)		
		⑤	リズム、コード(聴音)		
		⑥	コールユーブンゲン(テキスト)		
		⑦	コンコーネ(テキスト)		
		⑧	リズム・聴音(コード)		
		⑨	歌(テキスト)讃美歌(コピー)歌うたい歌		
		⑩	個別レッスン(授業の後半30分5名ずつ)		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	声楽Ⅳ	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	15	
3	授 業 時 間	15時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・実技	
		資 格		教員免許	所 属	個人教室
		実 務 経 験		ヤマハ音楽教室11年		
11	教 科 書	近畿大学テキスト 音楽(声楽教本) リズムの基礎 コピー楽譜				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種				
13	科 目 の 概 要	積み重ねたテキストの歌、子どもの歌を歌うとともに音楽の見本であるソルフェージュカをつけるために、リズム、読譜、音程、和音など繰り返し訓練します。				
14	科 目 の 到 達 目 標	スクーリング受験資格は定期試験合格することとします。声楽はクラス授業であるため、個人的にチェックする必要があり、授業の後半に個別レッスンします。一年間で身に付けた基礎を元に保育に必要な演奏の技術の向上を目指します。				
15	科 目 の 必 須 条 件	授業の効果を上げるため、積極的に参加協力してください。個人的にチェックするために個別レッスンをします。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション レッソンの流れ			
		②	出欠 お知らせなど			
		③	発声			
		④	子どもの歌(季節の歌など)			
		⑤	リズム、コード(聴音)			
		⑥	コールユーブンゲン(テキスト)			
		⑦	コンコーネ(テキスト)			
		⑧	リズム・聴音(コード)			
		⑨	歌(テキスト)讃美歌(コピー)歌うたい歌			
		⑩	個別レッスン(授業の後半30分5名ずつ)			
		⑪				
		⑫				
		⑬				
		⑭				
		⑮				
18	参 考 書					

1	課 程	社会福祉課程	5	科 目 名	キャンプ実習Ⅱ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	26
3	授 業 時 数	120時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実習
		資 格		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験		①幼稚園 9年 保育園 6年 ②保育園6年 児童発達支援センター 3年	
11	教 科 書	キャンプテキスト「キャンプ指導者入門」			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	キャンプインストラクター			
13	科 目 の 概 要	キャンプインストラクター取得のための技術を身に付けます。 クラスの仲間と友情をはぐくみ、夢を分かち合い幸せをつかめる人になるために、行動できるようになる人材育成の機会とします。3泊4日を通して、自分自身と見つめなおしていく機会としています。			
14	科 目 の 到 達 目 標	キャンプインストラクター資格取得を目指し、野外教育(組織キャンプ)の意義を知るとともに、野外生活の楽しさを体験します。幼児を対象とした組織キャンプにおける教育的意義を理解します。キャンプの中で協力しながら、クラス内の皆と親睦を深めていきましょう。 同じ夢を持つ仲間として、心遣いや思いやりを大切にしていけるように取り組みしましょう。			
15	科 目 の 必 須 条 件	キャンプインストラクターキャンプを経験した中で、その技術、技法を身に付けていきましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	集合出欠、オリエンテーション		
		②	1日目午前プログラム(学生準備)①		
		③	1日目午前プログラム(学生準備)②		
		④	1日目午後プログラム(学生準備)①		
		⑤	1日目午後プログラム(学生準備)②		
		⑥	2日目午前プログラム(学生準備)①		
		⑦	2日目午前プログラム(学生準備)②		
		⑧	2日目午後プログラム(学生準備)①		
		⑨	2日目午後プログラム(学生準備)②		
		⑩	3日目午前プログラム(学生準備)①		
		⑪	3日目午前プログラム(学生準備)②		
		⑫	3日目午後プログラム(学生準備)①		
		⑬	3日目午後プログラム(学生準備)②		
		⑭	4日目午前プログラム(学生準備)①		
		⑮	4日目午前プログラム(学生準備)② 振り返り、まとめ		
18	参 考 書				

1	課	程	社会福祉専門課程	5	科	目	名	ピアノV		
2	学	科	児童福祉教育科	6	科	目	番	号		
3	授	業	時	数	7	期		前期		
4	開	講	学	年	8	選	択	・		
						必	修	必修		
10	担	当	氏	名	9	授	業	形	態	
			資	格		所	属		個人教室	
			実	務	経	験				①音楽教室(個人レッスン)20年②ヤマハ音楽教室11年③音楽教室(個人レッスン)20年④ピアノ教室 26年 ⑤⑥⑧講師⑦幼稚園保育園でのリトミック指導
11	教	科	書					ブルグミュラー25の練習曲 ソナチネなど		
12	関	連	資	格	・	検	定	等	保育士・幼稚園教諭2種	
13	科	目	の	概	要				前期、後期ともにグループ内での発表会を行い、進路などの確認を行う。	
14	科	目	の	到	達	目	標		近大テキストの所定の曲をすべて終了し、近大スクーリングにて「音楽Ⅰ-②」及び「音楽1-③」の試験に合格できるように組みましょう。実習前は、季節の歌などの弾き歌いに取り組むとともに、実習園から課題曲を提示された学生はその課題が完璧になるまでしっかりと弾きこみましょう。	
15	科	目	の	必	須	条	件		授業以外に各自必ず練習する時間を作ってよく引き込んだ状態で授業に参加してください。忘れ物(ヘッドフォン、楽譜)の忘れ物は厳禁です。もし忘れた場合は授業前に準備してください。 爪は短く、ピアノ室は飲食厳禁。 スクーリングで試験を受けるには、1週間前までに上記の曲を合格していることが条件です。	
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	
									出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し	
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	①	スケール(音階) コードネームによる伴奏付け
									②	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け
									③	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン
									④	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン
									⑤	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン
									⑥	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン
									⑦	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン
									⑧	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン
									⑨	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン
									⑩	スケール(音階) ト長調、ヘ長調 コードネームによる伴奏付け リズムうち「リズムの基礎」使用 個人レッスン
									⑪	
									⑫	
									⑬	
									⑭	
									⑮	
18	参	考	書							

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	音楽研究Ⅱ	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	29	
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義	
		資 格		幼稚園教諭1種・2種免許	所 属	熊本YMCA水前寺幼稚園
		実 務 経 験		幼稚園9年		
11	教 科 書	子どものうた100				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許				
13	科 目 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な楽器の取り扱いについての基礎的なことを学ぶとともに、教材を分析し、実践に活かせるよう研究・発表します。</li> <li>・幼児と音楽について考えるとともに、保育の中に音楽を取り入れる際に考慮すべき点や保育者の援助について、具体的な方法を考察し実技中心に進めます。</li> <li>・後期は主に卒業発表に向けての準備を中心に授業を進めていきます。</li> </ul>				
14	科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極性を望みます。</li> <li>・「音楽は楽しい」と子どもたちに伝えられるように、色々な楽器・音楽そのものをまずは皆さんが楽しみ授業に参加します。</li> <li>・自分たちの卒業発表を成功させる為でもあり、将来現場で発表会などを行う際に必要と思われる劇場やステージの理解も深め、安心して発表会が行えるように、学びを深めていきたいと思います。</li> </ul>				
15	科 目 の 必 須 条 件	鍵盤ハーモニカの唄口は毎回持参してください。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	後期オリエンテーション・舞台の基礎・鍵盤ハーモニカ			
		②	手作り楽器楽器を作ろう①			
		③	手作り楽器楽器を作ろう② ドラムジカチーム分け			
		④	ドラムジカ①			
		⑤	ドラムジカ②			
		⑥	合奏基礎① 指揮法について			
		⑦	合奏基礎②			
		⑧	効果的な舞台演出について			
		⑨	様々なリズムで遊ぼう			
		⑩	卒業発表会の練習を振り替えます(補講)			
		⑪	卒業発表会の練習を振り替えます(補講)			
		⑫				
		⑬				
		⑭				
		⑮				
18	参 考 書					



1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	弾き歌いⅡ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	30
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実技
		資 格		所 属	個人教室
		実 務 経 験	①音楽教室個人レッスン20年) ②ヤマハ音楽教室11年/高等学校講師6年/短期大学教職11年/専門学校21年 ③音楽教室(個人レッスン20年) ④小学校2年/中学校2年/大学2年/専門学校18年 ⑤音楽教室(個人レッスン20年) ⑥小学校2年/中学校2年/大学2年/専門学校18年 ⑦大学講師6年/専門学校18年 ⑧音楽大学、幼稚園・保育園でのリトミック指導31年		
11	教 科 書	「こどもの世界」他、プリント楽譜配布			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	余裕のある学生は、難しい方の伴奏にも挑戦する。また、弾き歌いのレパートリーを増やすとともに、子どもたちの顔を見ながら弾くことができるよう、練習に取り組みます。できるだけ暗譜します。			
14	科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後、保育現場で力を発揮できるよう、園で歌われている歌を題材に音楽活動に必要な様々な知識・技術の習得を目指します。</li> <li>・就職試験対策として暗譜・初見・コード伴奏に取り組みます。 ・簡単な初見奏を毎時間取り組みます。</li> <li>・コードについての理解を深め、自分で伴奏を考えて演奏できるようにします。 (前期で経験し、後期で応用できる力を身につけます。)</li> <li>・実習、自主実習、就職準備などがあるので、自分なりにきちんと目標を持ち、計画を立て時間の使い方を工夫しながら努力しましょう。</li> </ul>			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題曲を期日までに必ず合格させます。</li> <li>・毎回の授業には必ず練習をしてレッスンに臨みます。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	「弾き歌い課題曲一覧表」(別紙)を順番にレッスンします。		
		②			
		③			
		④			
		⑤			
		⑥			
		⑦			
		⑧			
		⑨			
		⑩	↓		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	卒業制作
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	48
3	授 業 時 数	90時間	7	期	前期・後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修・選択・必修選択
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・演習・実技・実習
		資 格		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験		保育園 6年 児童発達支援センター 3年	
11	教 科 書				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	3年間の学びの集大成として、表現活動を自分たちだけの手で作り上げることにより、問題解決能力、自主性、コミュニケーション能力等、総合的な力を高めます。卒業発表会はあくまでも最終的な結果であり、本来の目的はその発表会に至るまでの過程にあります。			
14	科 目 の 到 達 目 標	舞台上で表現するということは、自分たちが伝えたい事をお客さんに伝えるということです。お客さんとは子どもたちです。将来関わる子どもたちに対して、この3年間の学びの中で自分たちも感じた事をぜひ子どもたちに伝えたい事、それがこの卒業発表会のテーマになります。その後、子どもたちに伝えるためにはどんな手段がいいのかを考えていくことが大事です。			
15	科 目 の 必 須 条 件	子どもはどう感じるだろうか？と、常に観客の目線に立ってステージを構成するように心がけてください。その視点は本番当日まで常に忘れないようにしましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	出欠、オリエンテーション 卒業発表会とは。		
		②	どのような話合にしていくのか、ルール決め		
		③	どう決めていくのか話合い		
		④	総監督決め		
		⑤	その他役割(副総監)		
		⑥	演目決め		
		⑦	演目役割		
		⑧	演目内容決め		
		⑨	脚本作成 練習(劇、ダンス、合唱)開始		
		⑩	話合い(広報)園決め		
		⑪	広報(ポスター・チラシ)作成 園案内 保護者・スタッフ等への案内		
		⑫	練習(劇、ダンス、合唱) 音合わせ、照明		
		⑬	会場確認 依頼		
		⑭	練習(劇、ダンス、合唱)		
		⑮	～	練習(劇、ダンス、合唱) 当日	
18	参 考 書				

1	課	程	社会福祉専門課程	5	科	目	名	保育原理					
2	学	科	児童福祉教育科	6	科	目	番	号	32				
3	授	業	時	数	7	期		前期					
4	開	講	学	年	8	選	択	・	必	修	必修		
10	担	当	教	員	氏	名		9	授	業	形	態	講義
					資	格	保育士・幼稚園教諭Ⅰ種		所	属	YMCA熊本五福幼稚園		
					実	務	経	験	保育園3年 幼稚園9年				
11	教	科	書	保育所保育指針解説・幼稚園教育要領解説									
12	関	連	資	格	・	検	定	等	保育士資格・幼稚園教諭免許				
13	科	目	の	概	要	保育者を志す者としての自覚と責任を持って、生活することを日ごろから心がけましょう。 新聞記事、ニュース、関連図書にも関心を持ちましょう。							
14	科	目	の	到	達	目	標	保育原理では、保育とは何かについて、保育の基盤となる基本的理論や知識を習得すると同時に、子どもを取り巻く現状や課題にも目を向け理解を深めていきます。					
15	科	目	の	必	須	条	件	単位取得の為、欠席の場合は課題レポートの提出が必要です。					
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し	
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	①	子どもに寄り添う保育とは？		
										②	養護と教育について		
										③	子どもの発達①(発達過程)		
										④	子どもの発達②(乳児保育)		
										⑤	子どもの発達③(安全と発達)		
										⑥	園をつくろう①(方針、園名、教育、保育内容)		
										⑦	園をつくろう②(園の設置場所、園舎、園内デザイン)		
										⑧	園をつくろう③(グループ発表)		
										⑨	保育の歴史(倉橋惣三について)		
										⑩	保育の内容・方法・計画・評価		
										⑪	子ども・子育て支援新制度について		
										⑫	子育て支援とは		
										⑬	特別支援教育とは		
										⑭	保育の現状と課題		
										⑮	まとめ		
18	参	考	書										

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	教育方法論	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	44	
3	授 業 時 数	30時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・実演	
		資 格		幼稚園教諭2種・保育士・ヘルパー2級	所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験		幼稚園9年 ・ 保育園6年		
11	教 科 書	幼児教育の方法 ～保育の内容・方法を知る～				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許				
13	科 目 の 概 要	教育の方法に関する理論的知識を取得する 乳幼児期の教育(保育)方法に関する基本的原理を知り、保育現場における実践を構想する。				
14	科 目 の 到 達 目 標	教育方法についての知識や理解を深めながら、保育現場での実践を想定し、自分なりに構想していけるようになる。様々な保育の在り方、方法を自らの考えを持ち保育観をふくらませていく。				
15	科 目 の 必 須 条 件	保育者を志す者としての自覚と責任をもって、生活することから心がける。 単位取得の為、欠席した場合はレポート提出が必要。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	教育(保育)方法とは何か? 5領域を知る			
		②	子ども理解を考える			
		③	環境における保育(教育)とは...①			
		④	環境における保育(教育)とは...②			
		⑤	あそびにおける保育とは...①			
		⑥	あそびにおける保育とは...②			
		⑦	見える保育・見えない保育			
		⑧	事例より保育士の役割を考える(実践を通して)			
		⑨	プロジェクトアプローチとは? ～レτζョエミア実践から学ぶ～			
		⑩	あそびと学びに関係・教えることと学ぶこと			
		⑪	保育における評価とは			
		⑫	保育の様々な形態について			
		⑬	幼保小との連携			
		⑭	保育者の専門性と教育方法			
		⑮	まとめ			
18	参 考 書					

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	教育心理学
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	34
3	履 修 単 位	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	フリーランス
		実 務 経 験	熊本県精神保健福祉センター12年（精神）障害者地域生活支援・相談支援センターこころ12年		
11	教 科 書	保育に生かす教育心理学			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	子どもの発達援助ために知っておくべき心理学の基礎理論を概観します。 主に認知の発達、学習理論、知能とパーソナリティ、教育評価といった内容を具体的場面に当てはめながら理解できるようにしていきます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>心・心理学について基本的な理解を深めます。</li> <li>保育教育に関連のある心理学論理にふれ、根拠のある子どもの理解や関わりをすることの大切さを知ります。</li> </ul>			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントなどは一度しか配りません。なくした時は友達にコピーさせてもらうなど自分で対処しましょう。</li> <li>提出や欠席等、自分のことは自分で責任を持って管理してください。</li> <li>わからないことがあったら、そのままにせず、なるべく早めに質問・確認することが大事です。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション 心・心理学と保育教育		
		②	認知の発達1		
		③	認知の発達2		
		④	学習1		
		⑤	学習2		
		⑥	学習3		
		⑦	知能		
		⑧	パーソナリティ		
		⑨	教育評価		
		⑩	まとめ		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	社会福祉
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	35
3	履 修 単 位	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	保育園6年 児童発達支援センター3年		
11	教 科 書	社会福祉と理論の実際			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	社会福祉の歴史や制度について学んだ後に、これからの日本において「社会全体で人を支える」ことについて、グループでのディスカッション等を行いながら、クラス全員で考察します。			
14	科 目 の 到 達 目 標	社会福祉の基礎を学び、身近な社会福祉について理解を深めることができます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	テレビや新聞、インターネットなどを活用し、身近な福祉の話題について集めましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション 身近な社会福祉について考えてよう		
		②	社会福祉の歩み		
		③	児童福祉について		
		④	障害者福祉について		
		⑤	高齢者福祉について		
		⑥	社会保険について		
		⑦	生活保護について		
		⑧	社会福祉専門職と地域の協働		
		⑨	これからの社会福祉について考えよう		
		⑩	科目終末試験対策		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	児童家庭福祉
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	36
3	履 修 単 位	30時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	保育園6年 児童発達支援センター3年		
11	教 科 書	児童家庭福祉 子どもと家庭を支援する			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の項目を重点に置きながら、配布プリントで最新情報を確認していきます。</li> <li>社会問題になっている、虐待、DV、家族関係、いじめ、不登校について取り上げ、問題予防、問解決に必要な知識を、教科書を中心に、ビデオ、資料を使って行っていきます。すべての児童が「健やかに育つ」とはどういうことか、そのために今、何を考えなくてはならないのかを共に考えていきましょう。</li> </ul>			
14	科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童福祉はすべての児童の生活を考える上で必要なことです。</li> <li>児童時期に着目し、幅広く学んでいきます。</li> <li>児童を取り巻く社会環境、などの現状を検討することにより、児童が直面している数々の問題と生存権、発達権の保障、児童の人権について理解を深めます。(子どもの権利)</li> </ul>			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの人への配慮として、私語は厳禁です。(退出を依頼します。その際は欠席です。)</li> <li>保育者として必要な知識のため、真面目に取り組んでほしいです。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション 担当と児童福祉の歴史・学生の発表		
		②	児童福祉の歴史 子どもの現状(保育を必要とする子どもについて)と取り巻く変化		
		③	児童福祉に関する問題		
		④	制度政策		
		⑤	発達障害について(教育実習に向けて) (脳の処理の違いについて)		
		⑥	障害をもつ子どもへの保育者社会状況内における児童福祉		
		⑦	専門職者に求められる人間性について		
		⑧	児童福祉施設における分類について(障害・育成・養護・保健)		
		⑨	児童福祉施設11種類 行政施設、役割について(児童相談所・福祉事務所)		
		⑩	子どもたちの現状、(養護を必要とする子どもについて)		
		⑪	虐待児童福祉施設の役割 教育現場		
		⑫	子どもたちの健全育成について		
		⑬	一人親家族・母子保健対策・手当・専門職について		
		⑭	待機児童と認定こども園について		
		⑮	まとめ		
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	社会的養護
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	37
3	履 修 単 位	30時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	児童養護施設
		実 務 経 験	児童養護施設 20年		
11	教 科 書	新・プリマーズ/保育/福祉 社会的養護 第3版			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	パワーポイントやDVDなどを使用し授業を行います。学生の皆様には、記述式の用紙に要点を要約しながら書き留めてもらいます。その都度、終わりに簡単なレポートを提出していただきます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	社会的養護の中核的な機能を担っている児童福祉施設の実際を学ぶことにより、保育士としての豊かな感性や援助技術等の専門性を培っていただきます。更に保育士としてだけでなく、地域に暮らす一人の人間としての資質も高めて社会的養護の本当の意味で構築に繋げてもらいたいです。また、社会的養護の変遷を理解しながら、子どもの権利や社会的養護の方向性を理解していきます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	積極的に授業に参加し疑問や質問を行ってください。 また施設実習等へ備えての大切な科目であることを理解してください。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の ス ケ ジ ュ ー ル	①	オリエンテーション 社会的養護とは		
		②	現代社会に暮らす子どもと家族		
		③	子どもの権利		
		④	子どもの養護の歴史		
		⑤	社会的養護の体系:施設、家族		
		⑥	里親制度		
		⑦	施設養護の特質		
		⑧	施設養護の基本原理		
		⑨	児童虐待の現状		
		⑩	社会的養護とソーシャルワーク		
		⑪	施設養護の専門性 I		
		⑫	施設養護の専門性 II		
		⑬	児童福祉施設の運営管理		
		⑭	児童家庭福祉の援助者としての資質・倫理		
		⑮	社会的養護のあるべき姿		
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	教職概論
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	38
3	履 修 単 位	30時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	野外教育施設 1年 高等学校 3年 小学校 5年		
11	教 科 書	教職入門			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	教師生活を多面的に学び、教職の意義を明らかにします。教師と児童・生徒との関わり合い、教師の役割と社会的責任、意識や文化及び教職の専門性などについて考えます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	教職についての基本的理解と明確な自覚を得るための学びを深めます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	自分自身が理想とする教師像をしっかりと考え、教育現場において求められる教師像について捉えつつ本科目の学びが教育・保育現場において実践できる土台として今後活かしていけるよう取り組みが大切となってきます。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の ス ケ ジ ュ ー ル	①	オリエンテーション 「私の理想の教師像」その1		
		②	教育とは何か		
		③	子どもとともに生きる教師の生活		
		④	日本における教師の歴史		
		⑤	現代社会の子どもたち		
		⑥	幼稚園・保育所の生活と遊び その1		
		⑦	幼稚園・保育所の生活と遊び(実習) その2		
		⑧	学校に関わりを持つ人々		
		⑨	カウントダウン・マインド		
		⑩	教師をめぐる新しい動き(国際化・情報化)		
		⑪	教師をめぐる法律・教育改革とこれからの教師 その1		
		⑫	教師をめぐる法律・教育改革とこれからの教師 その2		
		⑬	教職の専門性と研修		
		⑭	「私の理想の教師像」その2		
		⑮	まとめ		
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	教育課程総論
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	39
3	履 修 単 位	30時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	幼稚園 9年 保育園 6年		
11	教 科 書	なし			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	教育課程とは、教育の目的や目標を有効に達成するための教育内容を、子ども心身の発達に応じて、選定し、組織し、配列した教育を進めるための計画の全体である。したがって、幼稚園においては保育を進めるための計画の全体をさすものである。			
14	科 目 の 到 達 目 標	この教育課程そのもには、考え方により多様な類型が存在するが、本科目では、将来保育に関する専門職に就こうとする一人ひとりが、他からの借り物の計画に頼るのではなく、自分の担当する子どもたちの実態に即して、自主的に教育計画を編成することができるようになるために必要な基礎的な力を養うことを目標としています。			
15	科 目 の 必 須 条 件	子どもたちにとって必要な手立てとは…、保育を行う上で大切なこととは…など一人ひとりがしっかり考え、受け止めてほしいです。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション		
		②	生涯学習と幼児期の関係		
		③	教育課程とは… / 幼稚園養育と保育所保育の共通点		
		④	幼稚園における教育課程の基準の変遷について		
		⑤	「幼稚園教育要領」における幼稚園教育の基本について		
		⑥	「遊び」をどう捉えるか		
		⑦	「楽しさ」をどう捉えるか		
		⑧	目的・目標・ねらい・内容について		
		⑨	教育課程編成の手順		
		⑩	「指導」とは		
		⑪	指導計画の意義		
		⑫	指導計画作成のポイント		
		⑬	指導計画と指導の評価について		
		⑭	まとめ		
		⑮	振り返り		
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	弾き歌いⅡ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	30
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	個人教室
		実 務 経 験		幼稚園・保育でのリトミック指導31年	
11	教 科 書	「音楽Ⅱ」他、プリント配布			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	音楽理論の基礎を学びます。楽譜の読み方や音楽の約束事を正しく理解した上で、自分の力で演奏したり音楽を深く味わうことが出来るようになります。毎回、課題を解きながら理解を深めていきましょう。毎回、復習を兼ねて授業前に前回の内容のチェックテストを行います。各項目を学習した後、近代レポート4冊を仕上げしていきます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	読譜に必要な音楽理論を理解し、学生自身の音楽基礎知識を深め音楽における表現や技術の向上に役立てます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	「ピアノ」や「声楽」の授業において、「楽譜が読めない」ことがその学習の支壁とならないよう、最低限の読譜力を身に付けてください。また、ピアノ譜やリズム譜、コードネーム付きの童謡譜、その他簡単なアンサンブル譜など、保育者として触れる機会の多い楽譜を読み、必要に応じて自分でも作成できるようになりましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	譜表と音名		
		②	音符と休符		
		③	拍子とリズム		
		④	音程		
		⑤	音階と調(長音階、短音階)		
		⑥	移調		
		⑦	和音		
		⑧	コードネーム		
		⑨	演奏順序		
		⑩	速さ、強さの表示法		
		⑪	曲想、奏法の表示法		
		⑫	演奏形態		
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	乳児保育
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	44
3	履 修 単 位	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	乳児院
		実 務 経 験	重度心身障害者入所施設 2年 熊本乳児院 31年		
11	教 科 書	はじめて学ぶ乳児保育			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	理論編(制度・歴史) 実践編(抱っこ・沐浴等) アイデア編(遊びのアイデアと歌遊び等)			
14	科 目 の 到 達 目 標	乳児保育の重要性を「認定こども園」の理解と併せて、保育のスタートの重要性学びます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	これからの保育におけるファミリー・ソーシャルワークに興味を持って授業に参加してください。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の ス ケ ジ ュ ー ル	①	アイスブレイキング なぜ乳児保育は必要か		
		②	施設見学(福祉)熊本市社会福祉協会 熊本乳児院		
		③	熊本授産場(社会事業授産)ワークショップ 熊本(就労支援B型)双葉保育園		
		④	乳児保育の現状とそれに関する制度の理解		
		⑤	乳児院とは。 こうのとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)検証		
		⑥	改正子育て支援法について(幼保無償化)		
		⑦	保育所保育指針について(乳児保育のポイント)		
		⑧	ポルトマンから学ぶ人生の基礎としての乳児期		
		⑨	乳児のからだ(体の発達と運動機能の発達)		
		⑩	総括・実習感想・試験対策		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	乳幼児心理学
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	45
3	履 修 単 位	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	フリーランス
		実 務 経 験	熊本県精神保健福祉センター12年（精神）障害者地域生活支援・相談支援センターころ12年		
11	教 科 書	乳幼児心理学			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達の手台となる生物学的基礎と初期経験に関する理論を概観します。</li> <li>・子どもがひとりの人間として個を確立していく過程をさまざまな面から見ていきます。</li> </ul>			
14	科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間としての基礎ができあがっていく乳幼児期について学びます。</li> <li>・単に知識を得るだけでなく、保育に結びつく人間観（人間とはどんな存在なのか）を深めることをねらいとします。</li> </ul>			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物・出欠の自己管理をお願いします。自分のことは自分で責任を持ち、人任せにしないようにしましょう。</li> <li>・プリントは一度しか配らないので、紛失した場合は友達に写させてもらうなど自分で対処してください。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点（1回欠席ごとに－5点） 平常点 20点（授業への取り組みの様子を評価） 作品提出 50点（作品の様子、提出期限重視） 発表の様子 10点（積極的な姿勢を評価します） 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション、発達の規定要因		
		②	成熟と学習の関係：いつ学習するのか		
		③	発達の生物学的背景		
		④	ヒトとはどんな生き物なのか（ビデオ鑑賞）		
		⑤	新生児期～乳児期に感覚・運動の発達1		
		⑥	新生児期～乳児期に感覚・運動の発達2		
		⑦	乳児期の身体・運動・精神機能の発達		
		⑧	自我と関係性の発達		
		⑨	情緒と道徳性の発達		
		⑩	予備・まとめ		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	教育相談	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	46	
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名		9	授 業 形 態	講義
		資 格	精神保健福祉士		所 属	放課後等デイサービス
		実 務 経 験	病院勤務(精神保健福祉士)15年 放課後等デイサービス2年			
11	教 科 書	子育て支援カウンセリング入門				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許				
13	科 目 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な心理学の理解</li> <li>・保育におけるソーシャルワーク、カウンセリング</li> <li>・保育者の自己理解・自己覚知</li> <li>・子どもや保護者への相談対応</li> </ul>				
14	科 目 の 到 達 目 標	近年、子どもや家庭を取り巻く環境が変化し、保育が行う業務についても、子どもの発達理解から保護者に相談対応など子育て支援の役割を期待されています。このような状況の中、保育士は子どもや保護者への関りでは、ソーシャルワークの視点や心理的理解を求められます。この授業を通して、保育ソーシャルワークやカウンセリングを学びます。				
15	科 目 の 必 須 条 件	事前にテキストを読んでおきましょう。授業はテキストを読んでいることを前提に行います。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション			
		②	よりよい子育て支援のために			
		③	子育て支援に活かすカウンセリングの理論			
		④	子育て支援に活かすカウンセリングの技法			
		⑤	日常の保護者との関わり方			
		⑥	養育困難をかかえる保護者への支援			
		⑦	障害のある子どもを持つ保護者への支援			
		⑧	精神疾患の疑いのある保護者の理解と対応			
		⑨	親としての成長を支える			
		⑩	保育者として自分と向き合う			
		⑪				
		⑫				
		⑬				
		⑭				
		⑮				
18	参 考 書					

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	教育原理
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	47
3	授 業 時 数	15	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験		野外教育施設1年 高等学校寮監 3年 小学校 5年	
11	教 科 書	近畿大学テキスト 教育原理			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	教育の本質・意義・昨日に関する理論的知識を習得する。現代社会における教育の諸問題について考察する力を身につけ、幼児期の教育の基本原則と特性を理解することを望みます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	幼稚園現場における「教育」の在り方について、実践的な課題を常に念頭に置き、それぞれの考え方を確立してほしいです。			
15	科 目 の 必 須 条 件	教育学の基礎知識をしっかりと自分のものにし、現在社会の教育の諸問題についてこうさつし、自分の考えをまとめてほしいと願っています。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	出欠、オリエンテーション 教育とは何か		
		②	教育観の類型について		
		③	現在における教育の課題について		
		④	教育において子どもを理解することの重要性について		
		⑤	教育の目的について		
		⑥	教育の内容について		
		⑦	教育における評価とは		
		⑧	日本と諸外国の学校制度について		
		⑨	公教育制度の特徴について		
		⑩	教育者の資質 教職の専門性について		
		⑪	情報化社会における教育の在り方について		
		⑫	教育を取り巻く現在の課題の考察①		
		⑬	教育を取り巻く現在の課題の考察②		
		⑭	教育を取り巻く現在の課題の考察③		
		⑮	まとめ		
18	参 考 書	教育原理 保育実践への教育学的アプローチ			

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	児童家庭福祉Ⅱ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	50
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験		保育園 6年 児童発達支援センター 3年	
11	教 科 書	近畿大学短期大学「児童家庭福祉Ⅱ」・各時間配布するプリント:ファイル			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	児童家庭福祉で習得した児童家庭福祉全般についての基礎知識と相談援助出学ぶ社会福祉の専門的方法を基礎として、児童の生存権や発達権を保障するためのすべての子どもや家庭に対するサービスの援助技術・方法の基本的知識に関する理解を深め事を目的とします。			
14	科 目 の 到 達 目 標	私語は厳禁。保育者として必要な知識のため、真面目に取り組んでほしいです。教科書の項目を重点に置きながら、配布プリントで最新情報を確認していきます			
15	科 目 の 必 須 条 件	近大レポート(2冊)・近大科目終末試験(指定問題8設問)該当科目です。クリアできるように取り組みましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション「家庭」と「家族」とは何か 「科目終末試験について」「安心できる居場所がない」		
		②	サイコロジカル:医療的観点から 被災児への遊びを通じた心のケア 甘やかすと甘やかせ		
		③	生きるとは何か、生とは何か 産婦人科の先生の視点(胎児治療)		
		④	SIDS 原因は何か タバコなどの薬物について		
		⑤	SIDS 原因は何か 虐待チェックの仕方について 早期発見、早期介入		
		⑥	ネグレクト(熊本第一の虐待原因) 虐待を受けた子どもたち、虐待をした親に関して		
		⑦	虐待 DVIについて		
		⑧	アダルトチルドレンについて		
		⑨	アダルトチルドレンについて「エゴグラム」などの自己理解のための手法		
		⑩	まとめ アダルトチルドレンがもたらす家族問題		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	家庭支援論	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	51	
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義	
		資 格		所 属	熊本YMCA学院	
		実 務 経 験		保育園 6年 児童発達支援センター 3年		
11	教 科 書	よくわかる家庭支援論 プリント				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種				
13	科 目 の 概 要	保育士の仕事として「保護者に対する保育に関する指導」がある。養成施設を卒業したばかりであっても「家庭支援」について学びを深めて卒業してほしいという現場からの期待もある。その期待に応えるための教科書である。保育士のもつ家庭観、家族観が、自分の育った家庭だけという狭い範囲ではなく、さまざまな家庭へ広い視野を持ってほしいと願っています。				
14	科 目 の 到 達 目 標	授業内容は試験対策を中心に、現在の保育園、幼稚園が抱えている問題を取り上げていきます。それぞれの家族がもつ個性、子育てに関連して家族で発生してくる課題などについて、自ら学びとってほしいです。				
15	科 目 の 必 須 条 件	近大レポート(2冊)・近大科目終末試験(指定問題8設問)該当科目です。クリアできるように取り組みましょう。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション 家族支援について 家族を取り巻く地域社会について ㊦ 第1回レポート提出前最後の授業。確認してもらいたい場合は受け付けます。			
		②	虐待家族について MYTREEペアレンツプログラム ㊦			
		③	家庭支援における保育士の役割について 在宅子育て支援			
		④	家庭支援が求められる背景と意義について			
		⑤	法、制度について ポート提出前最後の授業。確認してもらいたい場合は受け付けます			第2回レ
		⑥	保育園と幼稚園における家庭支援について(保育実習直前の授業)			
		⑦	家庭支援にかかわる法、制度について、専門機関、地域活動「子育て支援」サービス			
		⑧	認定こども園について 児童家庭福祉の教科書が必要			
		⑨	障害をもつ子どもたちの家庭支援について			
		⑩	まとめ			
		⑪				
		⑫				
		⑬				
		⑭				
		⑮				
18	参 考 書					

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	障害児保育	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	74	
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義	
		資 格		幼稚園教諭1種 保育士	所 属	とら太の会
		実 務 経 験		幼稚園20年 保育、学童保育 15年		
11	教 科 書	よくわかる障害児保育 第2版				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種				
13	科 目 の 概 要	テキストだけではなく、さまざまな文献を読み、障がいに関する理解を深めておくことを求めます。ニュースやテレビ番組などでよりあげられる、障がいや障害児への支援に関する最新情報などを積極的に活用します。				
14	科 目 の 到 達 目 標	障がい児保育の対象となる障がいの特徴について理解します。 障害児保育の実際や保護者への支援に関する基礎的な知識を習得します。 小学校への移行や他機関との連携などに関する基礎的な知識を習得します。				
15	科 目 の 必 須 条 件	テキストを熟読しておくこと。また各自特別支援教育や障害児保育に関連する書籍を積極的に読み込み、保育者として「自分ならどうかかわるか」「自分ならどのように支援するか」を考えておきましょう				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	障害児保育の歴史と理念			
		②	乳幼児期の発達的問題			
		③	知的遅れのある子どもの保育			
		④	体の不自由な子どもの保育			
		⑤	自閉症スペクトラム障害の理解と保育現場における支援			
		⑥	ADHDの理解と保育現場における支援			
		⑦	視覚障害・聴覚障害の理解と支援			
		⑧	就学に向けて			
		⑨	保護者への支援			
		⑩	障害児保育の実践			
		⑪				
		⑫				
		⑬				
		⑭				
		⑮				
18	参 考 書					

1	課	程	社会福祉専門課程	5	科	目	名	子どもの食と栄養			
2	学	科	児童福祉教育科	6	科	目	番	号			
3	授	業	時	数	7	期		後期			
4	開	講	学	年	8	選	択	・			
								必修			
10	担	当	氏	名	9	授	業	形	態		
			資	格		所	属				
			実	務	経	験					
								講義・実技			
								管理栄養士			
								産婦人科			
11	教	科	書					子どもの食と栄養			
12	関	連	資	格	・	検	定	等			
								保育士・幼稚園教諭2種			
13	科	目	の	概	要	教科書を参照しながら、授業はパソコンを使用して子どもの食の大切さを示していく授業で聞くだけで泣くレポートを作成しながらポイントを押さえていく、子どもの食の問題点を食生活チェックから見出し、それに対する食育を紙芝居方式で発表の演習を行う、また調理実習で離乳食、幼児の食事作りやもちつきを通して食材の取り扱い、調理法、おいしさをグループの共同作業で学びましょう。					
14	科	目	の	到	達	子どもは、乳幼児期・幼児期から学童期・青年期の各時期を経て、生理的、身体的に大きく成長していく。この各時期の身体の生理学的特徴と栄養・成長における相互の重要性や、心の健康、アレルギーはじめとする体調不良疾患の問題影響を理解しながら、保育者としての対応・役割を学ぶ、その中で、子どもの食の問題を見出し、改善策を演習式で学びながら、食育の実践力を養うことを目的とします。					
15	科	目	の	必	須	将来保育者としての職務に必要なことを中心に生活習慣としても重要なことを自主的・積極的に取り組む姿勢で、食が子どもの発達のすべてで、栄養、食生活の里式、技術を身に付けるように努力すること。調理実習で衛生知識をはじめ、食材の取り扱い、調理法、栄養学のおいしさを学んでほしいです。清潔な身だしなみ、言葉使い、マナーを守ることとします。					
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価		
									出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し		
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル		
										①	栄養素に関する基本知識: 栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能
										②	栄養生理代謝に関する基本知識 (人体における食品からのエネルギー発生など)
										③	妊娠期・授乳期の栄養食生活(胎児期の栄養)
										④	子どもの食べる機能、消化吸収の発達と食生活(子どもの食生活チェック)
										⑤	家庭や児童福祉施設における食事と栄養; 調理実習(保育所求職)
										⑥	家庭や児童福祉施設における食事と栄養; 調理実習(保育所求職)
										⑦	疾病および体調不良の子ども・食べ物アレルギーのあることへの対応
										⑧	保育所における食育の実践(紙芝居作成—グループワーク)
										⑨	児童福祉施設における行事食(餅つき実習)
										⑩	児童福祉施設における行事食(餅つき実習)
										⑪	
										⑫	
										⑬	
										⑭	
⑮											
18	参	考	書								

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	子どもの保健 I-①	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	54	
3	授 業 時 数	30時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義	
		資 格		助産師、看護師	所 属	マタニティハウス
		実 務 経 験		病院勤務(産婦人科)9年 マタニティハウス31年		
11	教 科 書	よくわかる 子どもの保健 今こそ食育・パパとママの小児科入門				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種				
13	科 目 の 概 要	子どもを取り巻く環境は時代と共に大きく変化し、課題も様々です。子どもが心身ともに健全に発育するために大人はどうあればよいか考えていきたいと思えます。				
14	科 目 の 到 達 目 標	子どもの保健の意義がわかり、子どもを取り巻く最近の問題点及び今後の課題について説明ができる 子どもの心身の正常な発育及び、発達段階の各期の特徴を述べるができる。 子どもの保健行政について述べるができる。				
15	科 目 の 必 須 条 件	日頃から新聞やインターネットなどで子どもの健康に関する情報を収集しておいてください。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	出欠、オリエンテーション 子どものための小児保健			
		②	身体発育と保健			
		③	身体発育と保健			
		④	身体発育と保健			
		⑤	生理機能の発達と保健			
		⑥	生理機能の発達と保健			
		⑦	生理機能の発達と保健			
		⑧	運動会機能の発達と保健			
		⑨	精神機能の発達と保健			
		⑩	精神機能の発達と保健			
		⑪	子どもの精神保健・子どもの疾病について			
		⑫	子どもの精神保健・子どもの疾病について			
		⑬	子どもの生活と健康			
		⑭	授業のまとめ			
		⑮	授業のまとめ			
18	参 考 書					

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	子どもの保健 I-②
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	54
3	授 業 時 数	30時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格	助産師、看護師	所 属	マタニティハウス
		実 務 経 験	病院勤務(産婦人科)9年 マタニティハウス31年		
11	教 科 書	よくわかる 子どもの保健 今こそ食育・パパとママの小児科入門			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	教科書の内容で授業を進めていく。現場での体験を話しながら進めていきます			
14	科 目 の 到 達 目 標	子どもの健康な発達段階を理解し、日々発育していることを理解する。小児期は人生のスタートの時期であり、母子関係の大切な土台作りであることを理解することを希望する。			
15	科 目 の 必 須 条 件	授業中携帯電話はカバンの中に入れておくこと。他人に迷惑をかけないように、私語は慎む			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	出欠、オリエンテーション 子どものための小児保健		
		②	身体発育と保健		
		③	身体発育と保健		
		④	身体発育と保健		
		⑤	生理機能の発達と保健		
		⑥	生理機能の発達と保健		
		⑦	生理機能の発達と保健		
		⑧	運動会機能の発達と保健		
		⑨	精神機能の発達と保健		
		⑩	精神機能の発達と保健		
		⑪	子どもの精神保健・子どもの疾病について		
		⑫	子どもの精神保健・子どもの疾病について		
		⑬	子どもの生活と健康		
		⑭	授業のまとめ		
		⑮	授業のまとめ		
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	発達心理学
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	55
3	授 業 時 数	30時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本県精神保健福祉センター
		実 務 経 験		熊本県精神保健福祉センター12年 障害者地域生活支援・相談支援センターこころ12年	
11	教 科 書	近大テキスト「発達心理学」			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	エリクソンの発達課題を中心に関連する理論を通して生涯発達について学ぶ。自分の過去・現在・未来を見つめたり、精神的成長・発達について意見交換したりしながら学習を進めていきます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	人間の発達・成長について、子どもの時だけではなく、生涯にわたって学ぶ。自分が関わる子どもの一生を思いながら、今の時期にどうかかわればよいかを考える視点を持ちます。 青年期から成人期にどのような課題があるのか、そのようにしてその課題を達成していけばよいか、自分自身の問題として考えていきます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	作業等自主的積極的な活動が求められる。15回前回出席が必須のため自己管理を徹底しましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション・子どもから大人へ		
		②	力動論による発達理論(フロイトとエリクソン)		
		③	自我発達と発達課題の考え方 ビデオ視聴		
		④	乳幼児期の発達課題		
		⑤	児童期の発達課題		
		⑥	青年期の特徴		
		⑦	青年期の発達課題		
		⑧	社会の中の青年について考える		
		⑨	親子関係の発達・自立について考える		
		⑩	人間関係・自分と他人について考える		
		⑪	成人期前期の発達課題		
		⑫	成人期中後期の発達課題		
		⑬	ライフイベントワーク1		
		⑭	ライフイベントワーク2		
		⑮	予備・まとめ		
18	参 考 書				

1	課	程	社会福祉専門課程	5	科	目	名	社会的養護内容					
2	学	科	児童福祉教育科	6	科	目	番	号	60				
3	授	業	時	数	7	期		後期					
4	開	講	学	年	8	選	択	・	必	修	必修		
10	担	当	教	員	氏	名		9	授	業	形	態	講義
					資	格	社会福祉主事任用資格・社会福祉士	所	属	シオン園			
					実	務	経	験	児童養護施設 20年				
11	教	科	書	よくわかる社会的養護内容第3版 プリント									
12	関	連	資	格	・	検	定	等	保育士・幼稚園教諭2種				
13	科	目	の	概	要	家庭的養護と施設の小規模化、ソーシャル・インクルージョン(社会的包括)の拡がりの中で、居住型の児童福祉施設における養護の理解を深める。また、特に障がいや虐待により人との信頼関係構築が難しい児童を支援するための知識や技能を習得させるとともに、施設養護観の形成を目指します。							
14	科	目	の	到	達	目	標	社会的養護の原理と原則を踏まえて、以下の3点に重点を置きます 1、社会的養護施設の機能と役割を説明できる 2、自立支援計画や用語の理解と簡単な作成を行える。 3、事例を通して、施設保育者の役割と意義を学び、自らの意見を述べる事ができる。					
15	科	目	の	必	須	条	件	テキストや配布資料、授業内で提示した文献を参考に学習を深めていきます。 新聞やテレビ、ネットなどを見て、社会で行っていることを情報収集していきます。					
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し	
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	①	児童の権利擁護 児童の最善の利益について考える		
										②	里親制度の特性と養育の実際		
										③	乳児院・児童養護施設・ファミリーホームの養育をめぐる状況と支援の実際		
										④	ひとり親家庭、母子生活支援施設と支援の実際		
										⑤	情緒障害のあるこどものための施設と支援の実際		
										⑥	障がい児施設(入所・通所)の療育と支援の実際		
										⑦	自立支援計画 こどもへの支援における記録について		
										⑧	里親・ファミリーホームと専門機関とのつながり		
										⑨	虐待された子どもへの支援		
										⑩	施設と家庭とのかかわりと地域との連携		
										⑪			
										⑫			
										⑬			
										⑭			
										⑮			
18	参	考	書										

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	人間関係(指導法)
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	63
3	履 修 単 位	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	
		実 務 経 験	高等学校心の教室相談員 34年		
11	教 科 書	資料配布			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	子どもの人間関係形成をめぐる諸課題について理解を深め、領域「人間関係」の内容及び意義について学習します。また、子どもが、単に集団にうまく適応することのみを問題にするのではなく、「他者理解」を通して人の豊かなかかわりを経験することの意義を学びます。人との豊かなかかわりを育てる保育者としての役割について学習します。			
14	科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「人間関係」に関する教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を習得します。</li> <li>・子ども発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深めます。</li> </ul>			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領及び保育所保育指針の領域「人間関係」を熟読しましょう。</li> <li>・授業中、指示された課題をまとめて、提出してください。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	<1日目>		
		②	1限目 領域「人間関係」の視点		
		③	2限目 領域「人間関係」のねらいと内容と何か		
		④	3限目 自己の形成と他者理解		
		⑤	4限目 集団における自己の発達		
		⑥	5限目 社会性の発達と遊び		
		⑦	<2日目>		
		⑧	1限目 協力・競争・排除		
		⑨	2限目 思いやりと道徳性の芽生えと集団生活に必要な規範		
		⑩	3限目 子どものコミュニケーション		
		⑪	4限目 保育者の役割と指導について		
		⑫	5限目 まとめ		
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書	教育心理学を愉しむ			

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	教育心理学
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	64
3	履 修 単 位	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	フリーランス
		実 務 経 験	熊本県精神保健福祉センター 12年 (精神)障害者地域生活支援・相談支援センター 12年 熊本中央高等学校スクールカウンセラー16年		
11	教 科 書	保育に活かす教育心理学			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	教育心理学の内容に関する講義を行うことで、実際の保育現場ではどのように心理学の知見を見立てていけばよいのかについて、演習やグループ討議を通じて理解を深めます。また不登校や虐待などを含む今日の子どもをめぐる問題についてもとりあげ、保育現場において援助者がこうした問題にどう取り組んでいけばよいのかということに関しても、講義や演習を通して学んでいきます。適宜資料を配布し、内容を理解を深めます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	本講義では、心理学の知識を学ぶことを通じ、保育において心理学の視点を活かせるようになることを目的とする。人はどのように学習していくのかということや、どのように人間関係を築いていくのかを学び、また心理学における様々な研究から得られた知見を学ぶことで、実際の保育の中で工夫や援助ができるようになることを目指します。			
15	科 目 の 必 須 条 件	あらかじめテキストに目を通しておくこと。実際に保育に中でどのように心理学の知見を活用できるのかを考え、レポート作成やグループ討議を行います。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	<1日目>		
		②	1限目 教育心理学とは		
		③	2限目 学習行動の基礎		
		④	3限目 やる気(動機づけ)について		
		⑤	4限目 ことばの発達について		
		⑥	5限目 知的能力の発達について		
		⑦	<2日目>		
		⑧	1限目 パーソナリティの発達		
		⑨	2限目 教育・保育における評価		
		⑩	3限目 発達障害のある子どもの教育・保育		
		⑪	4限目 子どもをめぐる教育的問題		
		⑫	5限目 教育心理学を保育に活かす		
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書	教育心理学を愉しむ			

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	音楽(器楽・声楽)
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	65
3	履 修 単 位	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	個人教室
		実 務 経 験	ヤマハ音楽教室11年 高等学校講師6年 短期大学教職11年 専門学校21年 / ピアノ教室26年 / 小学校2年 中学校2年 大学2年 専門学校18年 / 大学講師6年 専門学校18年 / 音楽大学 幼稚園・保育園でのリトミック指導31年		
11	教 科 書	「音楽<声楽教本>」「音楽<ピアノ教本>」			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	声楽: ループレッスンの形態で行います。コールユーブンゲンでは音程とリズム、コンコーネでは歌唱表現を重視し、子どもの歌も使用します。 ピアノ: 個人レッスンの形態で行います。記録票のグレードに従い、学生の力量に合わせた指導を行います。			
14	科 目 の 到 達 目 標	保育者として、子どもに歌い聴かせうるための声楽の基礎(発声法)を学ぶとともに、基本的な音楽理論を理解することを目標とします。また、弾き歌いに必要となる鍵盤楽器の基礎を身につけることを目標とします。			
15	科 目 の 必 須 条 件	声楽、ピアノともに練習あるのみです。短時間であれ、毎日続けていくことが上達のカギとなります。記録票の進度に合わせ、焦ることなく、丁寧に取り組んでください。特にピアノについては初見状態でのレッスンでは成立しないので、受講にあたり下記の条件を設けます。満たない場合は受講を認めない場合があります。 ・ピアノ記録票①の3段目まで(1番～25番、マーチ1～6)の個人レッスンを受けて、指導者の押印があること。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	<1日目>		
		②	1限目 ガイダンス 基礎練習		
		③	2限目 レッスン		
		④	3限目 声楽:コールユーブンゲン1～8		
		⑤	4限目 ピアノ:1番～25番、マーチ1～6 確認		
		⑥	5限目 26番～31番、マーチ7・8		
		⑦	<2日目>		
		⑧	1限目 声楽:コールユーブンゲン9～15		
		⑨	2限目 コンコーネ1・2		
		⑩	3限目 ピアノ:32番～36番、マーチ9・10		
		⑪	4限目 試験課題発表 レッスン		
		⑫	5限目 実技試験		
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	音楽(器楽・声楽)
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	65
3	履 修 単 位	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	
		実 務 経 験	ヤマハ音楽教室11年 高等学校講師6年 短期大学教職11年 専門学校21年 / ピアノ教室26年 / 小学校2年 中学校2年 大学2年 専門学校18年 / 大学講師6年 専門学校18年 / 音楽大学 幼稚園・保育園でのリトミック指導31年		
11	教 科 書	「音楽<声楽教本>」「音楽<ピアノ教本>」			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	声楽: ループレッスンの形態で行います。コールユーブンゲンでは音程とリズム、コンコーネでは歌唱表現を重視し、子どもの歌も使用します。 ピアノ: 個人レッスンの形態で行います。記録票のグレードに従い、学生の力量に合わせた指導を行います。			
14	科 目 の 到 達 目 標	保育者として、子どもに歌い聴かせうるための声楽の基礎(発声法)を学ぶとともに、基本的な音楽理論を理解することを目標とします。また、弾き歌いに必要となる鍵盤楽器の基礎を身につけることを目標とします。			
15	科 目 の 必 須 条 件	声楽、ピアノともに練習あるのみです。短時間であれ、毎日続けていくことが上達のカギとなります。記録票の進捗に合わせ、焦ることなく、丁寧に取り組んでください。特にピアノについては初見状態でのレッスンでは成立しないので、受講にあたり下記の条件を設けます。満たない場合は受講を認めない場合があります。 ・ピアノ記録票全ての個人レッスンを受けて、指導者の押印があること。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	<1日目>		
		②	1限目 ガイダンス 基礎練習		
		③	2限目 レッスン		
		④	3限目 声楽:記録票②		
		⑤	4限目 ピアノ:記録票②		
		⑥	5限目 ※力量により進捗は異なる		
		⑦	<2日目>		
		⑧	1限目 声楽:記録票③ 子ども歌		
		⑨	2限目 ピアノ:記録票③		
		⑩	3限目 ※力量により進捗は異なる		
		⑪	4限目 試験課題発表 レッスン		
		⑫	5限目 実技試験		
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育内容総論
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	66
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	さくらんぼ保育園
		実 務 経 験		保育園 21年	
11	教 科 書	保育内容総論			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	「保育所保育指針解説書」を中心に、保育をめぐる基礎知識を取得し、基本原理を理解することを目指していきます。同時に基本原理を踏まえ、指導計画を立案し、実践する力を養う。講義形式のほか、グループワークや受講生同士の議論を通して、保育実践を構築し、批判的に検討できる力の素地を培います。			
14	科 目 の 到 達 目 標	保育内容の史的展開を踏まえ保育所保育や子どもの育ちをめぐる現状と課題について、説明できます 保育所保育の役割、環境を通して行う保育、保育における遊びの位置づけなどの基本原理について説明でき、実践に反映できます 保育の総合性を踏まえ、指導計画を立案し、実施することができる。子どもの最善の利益について複眼的に思考し、保育実践を批判的に検討することができます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	「保育所保育指針解説書」第1章「総則」に目を通しておきましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	日本におけるこども・子育てをめぐる現状と課題—保育の基礎知識①		
		②	幼稚園・保育所の設立と保育方法の史的展開—保育の基礎知識②		
		③	保育所保育の目的・役割—保育の基本原理①		
		④	保育内容「ねらい」「内容」の意味—保育内容の理解①		
		⑤	保育の総合性とは何か—保育内容の理解②		
		⑥	指導計画立案の考え方、書き方の基本		
		⑦	子どもの発達過程に応じた保育		
		⑧	遊びと保育		
		⑨	子どもの最善の利益とは—保育所保育をめぐる論点と議論		
		⑩	小学校との設読・共生の保育		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	教育実習事前事後指導
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	67
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	YMCA熊本五福幼稚園
		実 務 経 験		幼稚園11年6か月 保育園 1年 認可外保育園 1年6か月	
11	教 科 書	教育実習事前事後指導			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	幼稚園教諭二種免許状取得に向けた教育実習が円滑かつ有意義に行われるよう、以下のような教育実習にかかわった基礎的な知識の理解を深めていく。①幼児期の発達段階、②幼稚園の機能と役割、③幼稚園教諭の職務と役割、④観察記録の作成方法、⑤指導計画の立案方法			
14	科 目 の 到 達 目 標	教育実習に向けた「事前」の心構えや準備に関する基礎的知識を理解する。 観察記録の作成、指導計画の立案の方法を理解する。 「事後」のまとめにかかわった考察の視点を理解する。			
15	科 目 の 必 須 条 件	子ども・子育て支援制度等、幼児教育や子育てにかかわった現代的な課題を新聞などの情報によって確認し、把握しておくこと。実習で使用する手遊び、歌遊び、ゲームなどのレパートリーを増やしておくことを望みます。ボランティアに積極的に参加することを条件とします。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	本学の教員養成の目標と教育課程、教育実習の意義		
		②	幼稚園の機能と役割、法的根拠、幼稚園教育を取り巻く状況		
		③	幼稚園教員の職務と役割		
		④	幼児期の発達課題と生活課題、過程との連携		
		⑤	実習園選定に向けた情報収集の方法		
		⑥	観察、参加実習における記録の作成の意義と方法		
		⑦	指導計画の作成の方法①(朝の会、食事指導の指導計画)		
		⑧	指導計画の作成の方法②「中心となる活動」の指導計画)		
		⑨	教育実習に向けた準備		
		⑩	まとめの課題		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育実習(保育所)事前事後指導
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	68
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	河内からたち保育園
		実 務 経 験		保育園 26年	
11	教 科 書	新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設など実習ガイド 第2版			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	保育実習の意義・目的・内容と言った保育実習の全体的な枠組みを解説します。具体的な内容を通して保育所実習についての授業を行います。実習前にすべき事柄、指導計画案の作り方・実習記録の作成及び、実習後にすべき事柄などを中心に具体的な事例に基づきながら行っていく。			
14	科 目 の 到 達 目 標	保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。 指導計画案の製作や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身につける。 実習の総括と、自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。			
15	科 目 の 必 須 条 件	手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や設定保育など保育実習に向けた準備 保育所の社会的役割、種類、内容などについての事前学習。 各自設定した、保育所における実習目標、課題、学習計画に沿って実習に向けた準備 実習終了後の実習時後レポート作成と提出			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	保育実習の全体の流れと諸注意		
		②	保育所実習の意義・目的・内容について		
		③	保育所の1日の流れとデイリープログラムの理解		
		④	保育所実習の実習記録作成について(実習日誌の書き方)		
		⑤	保育所実習の指導案作成について(指導案の書き方)		
		⑥			
		⑦			
		⑧			
		⑨			
		⑩			
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育実習(施設)事前事後指導
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	69
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格	保育士・幼稚園教諭2種 社会福祉主事、社会福祉士・精神保健福祉士	所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	保育園 6年 児童発達支援センター 3年		
11	教 科 書	新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設など実習ガイド 第2版			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	保育実習(施設)の意義・目的・内容と言った保育実習の全体的な枠組みを解説します。具体的な内容を通して保育所実習についての授業を行います。実習前にすべき事柄、指導計画案の作り方・実習記録の作成及び、実習後にすべき事柄などを中心に具体的な実例に基づきながら行っていきます。レポートをまとめていく。			
14	科 目 の 到 達 目 標	保育実習(施設)の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。指導計画案の製作や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身につける。実習の総括と、自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。			
15	科 目 の 必 須 条 件	手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や設定保育など保育実習に向けた準備 保育所の社会的役割、種類、内容などについての事前学習。 各自設定した、保育所における実習目標、課題、学習計画に沿って実習に向けた準備 実習終了後の実習時後レポート作成と提出			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	施設実習に関する基礎的理解と諸注意		
		②	施設における保育内容と養護		
		③	施設の役割と機能について		
		④	施設実習の実習記録作成について(実習日誌の書き方)		
		⑤	施設実習の指導案作成について(指導案の書き方)		
		⑥			
		⑦			
		⑧			
		⑨			
		⑩			
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	児童家庭福祉Ⅱ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	70
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格	保育士・幼稚園教諭2種・社会福祉主事任用資格・社会福祉士・精神保健福祉士	所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	保育園 6年 児童発達支援センター 3年		
11	教 科 書	近畿大学短期大学「児童家庭福祉Ⅱ」・各時間配布するプリント:ファイル			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	児童家庭福祉をめぐる社会の諸状況の変化、児童の権利条約、児童家庭福祉の理念、施策を理解します。様々な事例を通して、援助技術・方法の基礎を学習し理解します。			
14	科 目 の 到 達 目 標	児童家庭福祉で習得した児童家庭福祉全般についての基礎知識と相談援助学ぶ社会福祉の専門的方法を基礎として、児童の生存権や発達権を保障するためのすべての子どもや家庭に対するサービスの援助技術・方法の基本的知識に関する理解を深め事を目的とします。			
15	科 目 の 必 須 条 件	近大レポート(2冊)・近大科目終末試験(指定問題8設問)該当科目です。クリアできるように取り組みましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	児童家庭福祉をめぐる社会の諸状況の変化		
		②	児童家庭福祉の理念		
		③	児童家庭福祉の制度		
		④	児相虐待の防止などに関する法律と児童の権利に関する条約		
		⑤	障害と難病のある子どもと家族への支援		
		⑥	一人親家庭の支援		
		⑦	児童虐待とケースワーク		
		⑧	児童虐待とグループワーク		
		⑨	地域子育て支援(コミュニティワーク)		
		⑩	児童家庭福祉の展望		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育相談支援
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	71
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本乳児院
		実 務 経 験	重症心身障害児施設 2年 熊本乳児院 31年		
11	教 科 書	保育相談支援			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	保育相談支援の基本的地域や方法、技術を講義で学びます。 グループワークにおいて、自己理解を促したり、事例を基に保護者への対応を具体的に考えます			
14	科 目 の 到 達 目 標	保育相談支援の意義と基本について理解します。 保育相談支援の内容や方法を理解します。			
15	科 目 の 必 須 条 件	近大レポート(2冊)・近大科目終末試験(指定問題8設問)該当科目です。クリアできるように取り組みましよう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	保育相談支援とは何か		
		②	保育相談支援の基礎		
		③	保育士と保育相談支援		
		④	事例①「保育者の対応」:各自保育者の子どもへの対応と保護者への対応を考える。		
		⑤	事例①「保育者の対応」:グループ学習と発表、解説		
		⑥	保育相談支援の技術と方法		
		⑦	事例②「保育者の対応」:グループ学習と発表、発表		
		⑧	事例②「保育者の対応」:解説と具体的支援の方法		
		⑨	特別な対応を必要とする家庭への保育相談支援		
		⑩	保育者の地域子育て支援における保育相談支援		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	乳幼児心理学	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	75	
3	授 業 時 数	30時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義	
		資 格		心理士	所 属	熊本県精神保健福祉センター
		実 務 経 験		熊本県精神保健福祉センター12年 障害者地域生活支援・相談支援センター12年		
11	教 科 書	はじめて学ぶ乳幼児の心理				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種				
13	科 目 の 概 要	講義において乳幼児の発達の理解とそれを支援する保育者の対応を学びます。理解を深めるために、ビデオ学習を行います。保育者と子どものロールプレイを行い、子どもへの理解を深めます。				
14	科 目 の 到 達 目 標	乳幼児期の子どもの発達の特徴を理解します。保育者としての適切な子どもへの関わり方を習得していきます。				
15	科 目 の 必 須 条 件	実習などで関わる子どもの発達像を遊びや食事の場面などで観察しましょう。授業後にレポートや小テストを実施します。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	乳幼児期の発達の特徴とその意味			
		②	愛着と親子関係			
		③	感覚と知覚			
		④	グループ学習:保育者と子どものロールプレイ			
		⑤	感情と動機付け			
		⑥	ハントの発達理論と教育理論			
		⑦	ピアジェの発達理論			
		⑧	自己の発達			
		⑨	社会性と仲間関係			
		⑩	遊びの重要性			
		⑪				
		⑫				
		⑬				
		⑭				
		⑮				
18	参 考 書					

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	劇遊び(指導法)	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	76	
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義	
		資 格		幼稚園教諭1種	所 属	YMCA水前寺幼稚園
		実 務 経 験		幼稚園9年		
11	教 科 書	表現Ⅰ 感性と表現				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種				
13	科 目 の 概 要	①基本ステップ、リトミック、リズムダンス、模倣表現 ②わらべ歌あそび ③自由表現「自然現象、生活事象、抽象事象」④発表、鑑賞 以上の動きのリズムを中心とした活動を展開します。				
14	科 目 の 到 達 目 標	子どものもつ豊かな感性や表現する力を引き出すための指導法、援助法を体得することを目標とします。自分の身体を確認し、身体運動による表現の特性を知り、イメージと動きのかかわりを体得し、創造性を豊かにすることを目標とします。				
15	科 目 の 必 須 条 件	近大レポート(2冊)・近大科目終末試験(指定問題8設問)該当科目です。クリアできるように取り組みましょう。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	ガイダンス			
		②	基本ステップ 身体の各部位を使用しての動き			
		③	幼児体操「リズム体操、手具体操、組体操」			
		④	舞踏育成法に依る基本的動きのパターン			
		⑤	リズムダンス			
		⑥	模倣表現 動きのスケッチ			
		⑦	表現遊び わらべ歌あそび			
		⑧	自由表現(自然現象、生活事象、抽象表現)			
		⑨	まとめ			
		⑩	発表、鑑賞			
		⑪				
		⑫				
		⑬				
		⑭				
		⑮				
18	参 考 書					

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	子どもの食と栄養	
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	77	
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・実技	
		資 格		管理栄養士	所 属	慈恵病院
		実 務 経 験		産婦人科		
11	教 科 書	子どもの食と栄養				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種				
13	科 目 の 概 要	保育者として小児に適切な食事環境を提供できるよう、各時期の特性や、栄養について理解させ、調理の技能の習得を目指します。				
14	科 目 の 到 達 目 標	小児の発達・発育の特性、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食(保育所給食)、食育の重要性を理解しましょう。				
15	科 目 の 必 須 条 件	テキストには必ず、目を通し、参考文献も何冊か読んでおきましょう。 実習で学習した内容の定着を図るための事後学習を行いましょう				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し				
17	講 義 の スケジュール	①	乳児期の授乳栄養について			
		②	調乳実習			
		③	離乳栄養について			
		④	離乳食実習			
		⑤	離乳食実習			
		⑥	幼児期の栄養について			
		⑦	幼児食実習(弁当・だしの取り方)			
		⑧	幼児食実習(弁当・だしの取り方)			
		⑨	小児期の食生活について(間食・食育・アレルギー対応)			
		⑩	間食、手洗いに関する実験			
		⑪				
		⑫				
		⑬				
		⑭				
		⑮				
18	参 考 書					

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育相談支援
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	78
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格		所 属	熊本乳児院
		実 務 経 験	重症心身障害児施設 2年 熊本乳児院 31年		
11	教 科 書	保育相談支援			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	講義やDVDで乳児保育の歴史や役割、乳児期の発達や子育て支援などの基礎的知識を学びます グループ演習で、乳児期の子どもへの対応や、保護者への支援等、保育者としての基本姿勢を学びます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	乳児保育の理念と歴史の変遷や乳児保育の役割を学びます。 乳児期の子どもの発達について学び、その生活や遊びについて理解します。 乳児の沐浴や着替え、排泄の対応について学びます。 保護者と保育者、関係機関などの望ましい連携について考えます			
15	科 目 の 必 須 条 件	実習での乳幼児の世話を通して困ったことやわからなかったことなど感じたことを整理しておきましょう。 授業後、実習での疑問や課題の解決を整理します。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の ス ケ ジ ュ ー ル	①	乳児保育とは何か、乳児保育の重要性		
		②	乳児保育の基本ととの歴史の変遷		
		③	乳児保育における基本的知識と援助		
		④	乳児期の発達		
		⑤	グループ演習:3歳未満児の発達と保育内容		
		⑥	ことばの発達と保育者の対応		
		⑦	グループ演習:現代の母親と子育て		
		⑧	保育者と保護者との連携と子育て支援		
		⑨	発達の遅れと向き合う		
		⑩	沐浴人形を使用しての実践		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	劇遊び(指導法)
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	76
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格	幼稚園教諭1種	所 属	YMCA水前寺幼稚園
		実 務 経 験	幼稚園9年		
11	教 科 書	表現 I 感性と表現			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	「知識」に関しては昔話、絵本・紙芝居などに多く接し、記録を蓄積します。保育者として知っておくべき物語を知るだけではなく、物語を吟味・分解する視点を得る「技術」に関しては、言語表現の構成や読み聞かせ・素話の基本を理解し、実践力を高める。			
14	科 目 の 到 達 目 標	①表現技術の一つとして言語表現について、基礎知識・技術を習得します。 ②絵本や紙芝居を中心とする児童文化財に関する基礎知識を習得し、表現力豊かな実演を行うことができるようにする ③言語表現活動が子どもの人間形成に果たす意義を理解します			
15	科 目 の 必 須 条 件	日頃から興味・関心をもって自ら絵本や物語に多く触れることを期待する。授業で得た知識や視点を応用し、私たちが日常的に接する物語を様々な視点から吟味・分析し、味わう意識をもってほしいと思います。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	子どもの言葉と表現		
		②	子ども・保育者の言葉		
		③	言葉あそび		
		④	絵本論		
		⑤	おすすめ絵本の紹介		
		⑥	読み聞かせの基本		
		⑦	読み聞かせの実践		
		⑧	物語の魅力		
		⑨	物語の制作		
		⑩	物語の実演		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	子どもの保健Ⅱ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	81
3	履 修 単 位	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義
		資 格	保健師・看護師	所 属	マタニティハウス
		実 務 経 験	病院勤務(保健師・看護師)9年		
11	教 科 書	子どもの健康と応急処置			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格 幼稚園教諭2種免許			
13	科 目 の 概 要	グループワーク、グループ討議を行い、学生同士でモデル人形を使用し、身近な疾患、ケガ、事故に対処できるように講義を進めます。			
14	科 目 の 到 達 目 標	身近な疾患、ケガ、事故に対して適切な応急処置及び救急処置に対応できる技能を習得します。			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の講義に該当する演習項目は、事前にテキストを熟読しておきましょう。</li> <li>・子ども、健康、応急処置などをキーワードとした新聞やインターネットの情報について、日常的に興味・関心を持つようにしましょう。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	<1日目>		
		②	1限目 子どもの保健についての概念		
		③	2限目 ベッドメイキング		
		④	3限目 心肺蘇生、AED(モデル人形での演習)		
		⑤	4限目 身体測定(モデル人形での演習)		
		⑥	5限目 沐浴(モデル人形での演習)		
		⑦	<2日目>		
		⑧	1限目 バイタルサインの測定法		
		⑨	2限目 子どものケガ、発熱等に対するの応急処置		
		⑩	3限目 子どものケガ、発熱等に対するの応急処置		
		⑪	4限目 感染症の対処方法		
		⑫	5限目 まとめ		
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	音楽表現(指導法)
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	82
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・実技
		資 格		所 属	
		実 務 経 験	幼稚園・保育園でのリトミック指導31年		
11	教 科 書	講師作成の資料			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	音・音楽による表現を主として、様々な角度から音楽表現について考えます。様々な音楽あそびを年齢に応じて展開し、あそび歌・絵描き歌・オリジナル音楽劇の創作・発表を行います。受講生同士が協力しながら創作し、全ての遊びを全員で体験します。授業の最後に、各自で作ったあそび歌の発表会を行います。			
14	科 目 の 到 達 目 標	領域「表現」に関する「ねらい」「内容」を理解し、幼児教育における音楽表現の基礎知識を習得する。保育活動における音楽の役割を理解し、子どもの音楽表現活動(乳幼児期の音楽表現活動、就学前の子どもを対象にした音楽あそび、小学校音楽科の授業につながる音楽活動)に関する基礎的知識及び指導・援助に関する知識・技能を習得する。			
15	科 目 の 必 須 条 件	事前学習:「音楽ピアノ教本」に記載の「子どもの歌」について、一通り目を通し、歌ってきて下さい。(各曲一番のみで結構です)			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	子どもの歌に触れよう		
		②	音を描こう		
		③	ボールを使った音楽あそび、楽器を使った音楽あそび		
		④	様々な音楽あそび ～絵本の読み聞かせと関連付けて～		
		⑤	音楽あそびを展開しよう		
		⑥	あそび歌を創ろう		
		⑦	劇あそびと音楽① ～オリジナルの音楽劇を創ろう～		
		⑧	劇あそびと音楽② ～オリジナルの音楽劇の練習～		
		⑨	劇あそびと音楽③ ～オリジナルの音楽劇を上演・観劇～		
		⑩	音楽発表会 ～自作のあそび歌を発表しよう～		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	環境(指導法)
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	83
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・実演
		資 格		所 属	河内からたち保育園園長
		実 務 経 験		保育園26年	
11	教 科 書	保育内容「子どもと環境」、保育所保育指針、幼稚園教育要領			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	領域「環境」について解説し、子どもたちを取り巻く環境の現状や問題について考察します。また、具体的生活体験を重視した保育指導力育成のための実践的授業や環境教育を視野に入れた授業を実施します。動物園実習を通して、命の大切さを学ぶとともに観察力を向上させることで子ども一人一人の発達の特性に応じた総合的な指導力を養います。			
14	科 目 の 到 達 目 標	子どもたちに影響を与える環境の現状・問題について説明することが出来る。現在の環境で子どもたちが生きる力を培うための保育の工夫、すなわち自然体験・社会体験などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然との関わりを深める保育を自ら設定して実践的に指導することが出来る。様々な観察を通して、観察力・集中力を身につけることが出来る。			
15	科 目 の 必 須 条 件	幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「環境」の部分を読み込んでおくこと。 図書室やインターネットで関連文献に目を通すこと。普段の生活の中で目にする自然に目を向け、観察する習慣をつけること。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「環境」の解説		
		②	子どもの周辺の環境(家庭、地域、社会、自然)の変化と実態、保育者の役割の説明		
		③	身近な自然にかかわる保育の理論的解説		
		④	科学あそび(実践的保育演習):シャボン玉あそび(水)		
		⑤	動物園実習事前指導:生き物とかかわる保育の理論的解説と実習内容の説明		
		⑥	サル山での行動観察(雄、雌、仔を区別)を通して観察力を身につける		
		⑦	いろいろな動物をスケッチすることで観察力を身につける(詳細な部分の観察)		
		⑧	幼児教育における動物園の役割および保育者が考慮しておくべき事柄の解説		
		⑨	動物園への引率を想定した「見せたい動物8」の発表(グループ発表)		
		⑩	動物園でのネイチャーゲーム(ビンゴ形式):様々な場所・事象に目を向ける		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	言葉(指導法)
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	84
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・実践
		資 格		所 属	YMCA熊本五福幼稚園
		実 務 経 験		保育士3年 幼稚園9年	
11	教 科 書	『保育所保育指針解説書』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	幼稚園教諭2種免許状、保育士資格の必修科目であると共に、保育科卒業必修科目です。『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』における保育内容・言葉の「目標」「ねらい」「内容」を理解し、保育者としての子どもとのかかわり方についての具体的な実践方法について検討し、実践できる力を身につけることを目指します。講義形式・グループワークを実施する。			
14	科 目 の 到 達 目 標	人間にとっての言葉(言語)の役割・言語獲得の理論を理解し、説明できる。 子どもの言葉を育む適切な環境について理解し、保育者としての子どもとのかかわり方を身につけ実践できる 保育所保育指針における保育内容「言葉」を理解し、言語環境の構成・言葉の力を育む指導を実践できる			
15	科 目 の 必 須 条 件	事前に『保育所保育指針解説書』『幼稚園教育要領』保育内容・「言葉」の箇所を目を通しておくこと。 事後学習としては、授業の復習をすることはもちろん、授業内で提示する参考文献等で理解を深めてほしい。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	人間にとって言葉とは何か		
		②	言語獲得の諸理論—生得説/環境説・養育放棄事例におけるこどもの言語獲得		
		③	保育内容・言葉を理解する視点としてのコミュニケーション		
		④	保育内容・言葉「ねらい」の理解—「目標」「内容」との関連を通して		
		⑤	応答的/積極的関わり・言葉以前のコミュニケーション—「内容」の理解①		
		⑥	言葉を通じた楽しい関わり—「内容」の理解②		
		⑦	基本的信頼関係の構築—「内容」の理解③		
		⑧	こどもの言葉を引き出す保育者の関わり—「内容」の理解④		
		⑨	物語と子どもの表現力・文字への気づき—「内容」の理解⑤		
		⑩	子どもの言葉を育む保育実践の構想と実践		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育教職実践演習
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	85
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	講義・実技
		資 格	幼稚園教諭Ⅰ種	所 属	YMCA水前寺幼稚園
		実 務 経 験	幼稚園9年		
11	教 科 書	資料を配布する			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学んできた幼稚園教諭・保育士について理解し、求められる資質や能力を確認していく。</li> <li>・グループ討論や実際に自分たちが体験することから指導案の作成を考えたり実習の中で実際に活用できるように学習する。</li> <li>・自分の苦手領域などの確認や克服も出来るように工夫して取り組む。</li> </ul>			
14	科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教諭、保育士として備えるべき姿勢や心構え、役割などの基本的な事項を理解する</li> <li>・幼稚園教諭、保育士として持つべき基礎的な指導力を知り、実際に指導計画を立て実習で実践できるように積極的に参加する。</li> </ul>			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが楽しむこと、学ぼうとする気持ちを意識してください。</li> <li>・子どもの発達についてもしっかりと調べて理解していきましょう。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	保育者としての自己分析		
		②	保育者としての社会的使命と役割		
		③	保育者としての教育的愛情		
		④	保育・教育職の意義と職務内容		
		⑤	家庭・地域社会との連携		
		⑥	子ども・保護者との信頼関係の構築		
		⑦	保育者に必要なコミュニケーション能力:ロールプレイ(保護者への対応)①		
		⑧	保育者に必要なコミュニケーション能力:ロールプレイ(保護者への対応)②		
		⑨	ロールプレイングの反省会・討論・発表		
		⑩	まとめ あそびの実体験		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育実習 I
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	86
3	授 業 時 数	90時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実習
		資 格	保育士・幼稚園教諭 I 種	所 属	YMCA熊本五福幼稚園
		実 務 経 験	保育園3年 幼稚園9年		
11	教 科 書				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	「保育実習」は保育士資格を取得するために児童福祉施設で行う実習である。10日間の実習で、次の内容を体験的に学ぶ。①保育所における1日の流れ ②子どもへの理解を深める ③保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ ④保育所等の技術や記録方法について実践的に学ぶ ⑤保育士を志すものとして自覚を高める			
14	科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育現場で保育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるか理解することが出来る。</li> <li>・実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる。</li> <li>・自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。</li> </ul>			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や設定保育など保育実習に向けた準備をする。</li> <li>・各自の実習のねらい、課題を明確にする。</li> <li>・実習後の日誌作成のまとめと、実習の反省と課題を明確にする。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	実 習 計 画	①	保育所の内容、機能について理解する。(保育所の1日の流れやプログラムの理解など)		
		②	保育所における子どもの理解(年齢(月齢)ごとの子どもの発達やその特徴など)		
		③	保育所における保育者の職務内容、役割などを理解する。		
		④	日誌や指導案の書き方を学ぶ。		
		⑤	・担当保育者の指導や助言に従い、積極的に保育実習に参加すること。		
		⑥			
		⑦			
		⑧			
		⑨			
		⑩			
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育実習 I (施設)
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	87
3	授 業 時 数	90時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実習
		資 格	保育士・幼稚園教諭 精神保健福祉士	所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	保育園6年 児童発達支援センター3年		
11	教 科 書	「新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド 第2版」			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	「保育実習 I」は、保育士資格を取得するために児童福祉施設(保育所以外)で行う実習である。乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設などの養護施設や障害児入所施設・障害者支援施設などの障害者施設で実習を行う。それぞれ10日間の実習で、次の内容を体験的に学ぶ。①施設における1日の流れ ②子どもや障害者への理解を深める。 ③施設保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ ④施設の技術や記録方法について実践的に学ぶ ⑤保育士を志すものとして自覚を高める			
14	科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設現場で療育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体液にどのように繋がるのか理解することが出来る。</li> <li>実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる。</li> <li>自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。</li> </ul>			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や部分指導など施設実習に向けた準備をする。</li> <li>各自実習のねらい、課題を明確にする。</li> <li>実習後の日誌作成のまとめと、実習の反省と課題を明確にする。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	実 習 計 画	①	施設の内容、機能などを理解する(1日の流れ、子どもや障害者の活動など)		
		②	施設保育士の職務内容及び役割、また他の職員とのチームワークなどの理解		
		③	子どもや障害者を取り巻く社会や家族の問題について理解する		
		④	日誌の書き方を学ぶ		
		⑤	・担当保育者の指導や助言に従い、積極的に保育実習に参加すること		
		⑥			
		⑦			
		⑧			
		⑨			
		⑩			
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育実習事前事後指導Ⅲ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	89
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実習
		資 格	保育士資格・幼稚園教諭免許 精神保健福祉士	所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	保育園6年 児童発達支援センター3年		
11	教 科 書	「新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド 第2版」			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	保育実習Ⅰ（施設実習）での自己評価と課題・学習目標について再度確認する。そして、それに基づき、具体的な事例を通して、実習計画作成、日誌の記録などにより実践的な内容を学習する。さらに、保育実習Ⅲの終了後には自己評価と保育士としての自己課題について考察する。学習方法として、保育実習Ⅲに向けて、養護と療育に関する知識や技術をさらに高めるために、教材研究などの実践と資料等を用いて、児童福祉施設の理解を深めるための学習を行う。また、保育士としての倫理観を理解し、保育士としての自己課題を明確化するためのレポート作成を行う。			
14	科 目 の 到 達 目 標	保育実習事前事後指導Ⅲでは、事前指導として、保育実習事前事後指導Ⅰ、保育実習Ⅰ（施設実習）、また、その他の教科で学習した内容を基礎に、保育実習Ⅲに向けた準備を行う。具体的には、子どもの最善の利益を基礎とした児童福祉施設における保育と養護の理解、また家族への支援など保育の実践力を養うことを目的とする。さらに、児童福祉施設以外の施設についても理解を深める。保育実習Ⅲの事後指導として自己評価を行い、保育士としての自己の課題を明確化する。			
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習Ⅰの施設実習の反省点や自分の課題をまとめておくこと。</li> <li>・絵本やペープサート、運動遊びなどの保育技術学習すること。</li> <li>・授業中にレポートを作成し、学習内容を深める。</li> </ul>			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点（1回欠席ごとに－5点） 平常点 20点（授業への取り組みの様子を評価） 作品提出 50点（作品の様子、提出期限重視） 発表の様子 10点（積極的な姿勢を評価します） 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	保育実習Ⅰ（施設実習）の振り返り		
		②	保育実習Ⅰ（施設実習）の振り返り		
		③	保育実習Ⅲの目的・意義について		
		④	保育実習Ⅲの目的・意義について		
		⑤	子どもの最善の利益と養護の理解		
		⑥	子どもの最善の利益と養護の理解		
		⑦	教材研究・自立支援計画の作成		
		⑧	教材研究・自立支援計画の作成		
		⑨	保育実習Ⅲに向けた総理解・自己課題の明確化		
		⑩	保育実習Ⅲに向けた総理解・自己課題の明確化		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育実習Ⅱ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	88
3	授 業 時 数	90時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実習
		資 格	保育士・幼稚園Ⅰ種	所 属	YMCA熊本五福幼稚園
		実 務 経 験	保育園3年 幼稚園9年		
11	教 科 書	「新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド 第2版」			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	「保育実習Ⅱ」では、前回の保育所実習を生かし、子どもの年齢や発達に応じた保育展開、状況に応じた保育の実践、さらに子育て支援としての保育所の役割を踏まえた保育実践に努める。 「保育実習Ⅱ」を履修するためには、「保育実習参加資格」の条件を満たさなければならない。また、「保育実習Ⅰ」を終えなければならない。			
14	科 目 の 到 達 目 標	・「保育実習Ⅰ」を通して学んだ技術と理論を基礎として、保育士として必要な資質、能力、技術を向上させる。 ・子育て支援をするために必要な知識・技術とニーズに対する理解力・判断力を養うことが出来る。			
15	科 目 の 必 須 条 件	・手遊び、歌遊び、絵本の読み聞かせなどの教材や部分指導など施設実習に向けた準備をする。 ・各自実習のねらい、課題を明確にする。 ・実習後の日誌作成のまとめと、実習の反省と課題を明確にする。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	実 習 計 画	①	子どもの年齢や発達に応じた保育や遊びの展開を行う		
		②	その場の状況に応じた子どもへの対応と保育について理解する		
		③	問題のある子どもや保護者に対する対応について理解する		
		④	延長保育や休日保育、育児相談など子育て支援事業の理解		
		⑤	保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等の実践と理解(部分実習、全日実習、査定実習)		
		⑥	保育士としての自己課題を明確化する		
		⑦	できるだけ、部分実習や全日実習を行い、実践力を養うように努めること		
		⑧			
		⑨			
		⑩			
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	保育実習事前事後指導Ⅱ
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	89
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期
4	開 講 学 年	3年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実習
		資 格	保育士・幼稚園教諭Ⅰ種	所 属	YMCA熊本五福幼稚園
		実 務 経 験	保育園3年 幼稚園9年		
11	教 科 書	新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド第2版			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士資格・幼稚園教諭免許			
13	科 目 の 概 要	・「保育実習(保育所)」での自己評価と課題・今後の学習目標について再度確認する。それに基づき、具体的な内容を通して、実習計画作成、実践、日誌の記録など、より実践的な内容を学習する。さらに、「保育実習Ⅱ」に関する目的を明確にし、「保育実習Ⅱ」の終了後には、自己評価と保育士としての自己課題について考察する。			
14	科 目 の 到 達 目 標	・「保育実習事前事後指導」「保育実習(保育所)」、またその他の教科で学習した内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深める。 ・指導計画の作成や記録など保育の実践力を養う。 ・保育士として自己の課題を明確化する。			
15	科 目 の 必 須 条 件	・「保育実習(保育所)」の振り返りと、次回の実習に向けた自己課題を明確にしておく。 ・「保育実習(保育所)」の実習記録を準備しておく。 ・各自設定した「保育実習Ⅱ」に向けた自分の実習課題、課題、学習計画に沿って、準備する。 ・「保育実習Ⅱ」終了後の反省を踏まえて、実習事後報告レポートを作成し実習日誌に添付して提出する。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	保育実習(保育所)の振り返り(報告会)		
		②	保育実習(保育所)の振り返り(報告会)		
		③	保育実習Ⅱの目的・意義について		
		④	保育実習Ⅱの目的・意義について		
		⑤	保護者・家庭への施設と地域社会への連携について		
		⑥	保護者・家庭への施設と地域社会への連携について		
		⑦	教材研究・指導計画作成		
		⑧	教材研究・指導計画作成		
		⑨	保育実習Ⅱに向けた、各自の実習目的、課題、学習計画の作成		
		⑩	保育実習Ⅱに向けた、各自の実習目的、課題、学習計画の作成		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				

1	課 程	社会福祉専門課程	5	科 目 名	教育実習
2	学 科	児童福祉教育科	6	科 目 番 号	90・91
3	授 業 時 数	15時間	7	期	後期
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修
10	担 当 教 員	氏 名	9	授 業 形 態	実習
		資 格		所 属	
		実 務 経 験		各園にて	
11	教 科 書	教育実習事前事後指導			
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	保育士・幼稚園教諭2種			
13	科 目 の 概 要	専門教育科目で習得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら、実践的指導力を体験的にまた、総合的に高めていくことを目標とします。この目標を達成するために第一回(2週間)の実習では、観察・参加実習、部分実習を、さらに、第2回(2週間)の実習では、指導実習を主とする実習を行うこととします。			
14	科 目 の 到 達 目 標	幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解します 幼稚園教諭の職務及び役割について、体験を通して理解します 幼稚園での1日の教育実習を振り返り、観察記録を作成することができます。 部分実習、または、全日実習の指導計画を立案することができます。			
15	科 目 の 必 須 条 件	実習で利用する手遊び、歌遊び、ゲームなどのレパートリーを増やしておきましょう。 配属クラスの年齢に応じた指導計画案を作成します。 実習後の授業、保育実習、就職活動、さらに、就職後の活動に向けた課題が鮮明になるような事後レポートを作成しましょう。			
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	出席点 20点(1回欠席ごとに-5点) 平常点 20点(授業への取り組みの様子を評価) 作品提出 50点(作品の様子、提出期限重視) 発表の様子 10点(積極的な姿勢を評価します) 定期試験無し			
17	講 義 の スケジュール	①	以下のような観察視点から幼稚園においてどのような活動が、どのような方法で行われているかを把握することを務める		
		②	①幼稚園における1日の生活・活動の流れと生活・生活内容の概要		
		③	②遊び・生活場面での園児の行動		
		④	③園児の行動に対する幼児教育の対応		
		⑤	参加実習では、指導教諭の指導と助言を受けながら、教育活動や園務に積極的に従事する。		
		⑥	1回目の実習を基礎として、専門教育科目で学習したあらゆる知識・技能を統合しながら以下のような		
		⑦	学習を獲得していく		
		⑧	①部分実習、全日実習の指導計画の作成および指導		
		⑨	②幼稚園教諭としての保育技能の習得および態度の養成		
		⑩	③幼稚園と家庭との連携の内容と方法の理解		
		⑪			
		⑫			
		⑬			
		⑭			
		⑮			
18	参 考 書				